文献目録

注：題目の後のカッコ内の数字は原本のページを示す。

港湾技術研究所報告　1—1，63—2

1 アルミニューム粉末の混入がモルタルおよびコンクリートの強度におよぼす影響（35〜45）小宮山・森口

2 沖波帯における波による砂移動について（23〜33）佐藤・田中

3 港湾工事環境における鋼材の腐食速度推定に関する実験的研究（1〜21）善　一章

港湾技術研究所報告　2—1，63—6

4 注入モルタルの試験方法に関する研究（21〜59）赤塚雄三

5 プレパックドコンクリートの圧縮強度試験用供試体製作方法に関する実験的研究（1〜18）赤塚雄三

港湾技術研究所報告　2—2，63—9

6 振動時の飽和砂の土圧と間隙水圧に関する研究（25〜71）石井・土田・古部

7 小名浜，中之作両港建設工事に用いられるコンクリートおよび注入モルタルの配合設計について（1〜24）赤塚雄三

港湾技術研究所報告　2—3，64—3

8 杭の横抵抗の新らしい計算法・計算図表（1〜39）久保浩一

9 杭の横抵抗の新らしい計算法（1〜37）久保浩一

港湾技研資料　No. 1，63—1

10 日本海岸の海岸保全のための自然条件と海岸堤防天端高算出について（66〜84）井島・松本・川上

11 作業船報告（その1）海竜丸浚渫試験報告（1〜65）松田・八木

港湾技研資料　No. 2，63—6

12 矢板式杭式繋船施設集覧（1〜289）大島・飯島・中山・沢田・佐々木

港湾技研資料　No. 3，63—6

13 プレパックド，コンクリート工法に関する資料調査報告（第1報）（33〜53）赤塚雄三

14 防水混和剤がモルタルおよびコンクリートの諸性質におよぼす影響（20〜32）森口・木村

15 被膜養生剤がコンクリートの強度におよぼす影響に関する研究（1〜18）小宮山正文

港湾技研資料　No. 4，63—10

16 作業船調査報告（その2）大山丸浚渫試験報告（1〜34）八木・大崎・早乙女・宮田・宮崎

港湾技研資料　No. 5，63—10

17 港湾建設計画に関連した漂砂の研究 —特にアイソトープによる漂砂調査及び研究—（1〜156）佐藤昭二

18 港湾建設計画に関連した漂砂の研究 —特にアイソトープによる漂砂調査及び研究—（1〜233）佐藤昭二

港湾技研資料　No. 6

19 プレパックドコンクリート工法に関する資料調査報告（第2報）（1〜75）赤塚・佐藤

港湾技研資料　No. 7，64—3

20 ガラス破片を粗骨材としたプレパックドコンクリートについて（1〜9）赤塚・森口

21 混和剤がコンクリートの圧縮強度，乾燥収縮および亀裂傾向におよぼす影響について（10〜20）赤塚雄三

港湾技研資料　No. 8，64—3

22 円筒構造物の応力計算について（47〜87）浜崎寿夫

23 杭式けい船岸の設計計算の現状について（1〜43）飯島昭美

Report of Port and Harbour Technical Research Institute　No. 1，63—2

24 鉄筋コンクリート部材内の引張および屈曲クラックについて（1〜27）*Akatsuka, Y.*

Report of Port and Harbour Technical Research Institute　No. 2，63—6

25 風波の発達に関する実験的研究　*Hamada, T.*

Report of Port and Harbour Technical Research Institute　No. 3，63—6

26 圧密試験における側面マサツについて　*Nakase, A.*

Report of Port and Harbour Technical Research Institute　No. 4，63—11

27 地盤支持力について（1〜33）*Nakase, A.*

港研参考資料　No. 1，63—3

28 砕波と海浜侵食について（1〜165）浜田徳一

港研参考資料　No. 2，63—3

29 河口港の水理（1〜7）浜田徳一

港研参考資料　No. 3，63—3

30 砂と粘土の混合土の工学的性質に関する研究（1〜36）倉田・藤下

港研参考資料　No. 4，63—5

31 三軸圧縮試験について（1〜4）中瀬明男

港研参考資料　No. 5，63—5

32 Bearing Capacity of Sandy Soil for Eccentric and Inclined Loads and Lateral Resistance of Single Piles Embedd in Sandy Soil.（265〜269）*Shinohara, T.*，外2名

港研参考資料　No. 6，63—5

33 Application Sand Drain Method to Habour Construction in Japan.（1〜14）*Ishii, Y.*，外3名

港研参考資料　No. 7，63—5

34 Estimation of m_v and c_v Values for the Design of Sand Drains.（1〜4）*Ishii, Y., Shinohara, T., Tateishi, T., Kurata, S.*

港研参考資料　No. 8，63—5

35 Aseismic Design of Quay Walls in Japan.（1〜17）*Amano, R.*，外2名

港研参考資料　No. 9，63—7

36 TOSBAC-3123 プログラムライブラリー（第1集）（1〜265）運輸省港湾技術研究所

港研参考資料　No. 10，63—9

37 注入モルタル配合の変化が流動性におよぼす影響に関する研究（1〜27）岡部・赤塚

港研参考資料　No. 11，63—9

38 プレパックドコンクリート工法における粗骨材空隙中のモルタルの流動と粗骨材の粒径について（1〜12）木庭・有吉

港研参考資料　No. 12，63—9

39 プレパックドコンクリート用注入モルタルの性能に関する港湾建設局共同研究（1〜67）木庭・善・赤塚

港研参考資料　No. 13，63—9

40 ねじ式モルタルポンプの磨耗による性能の変化について（1〜12）木庭・赤塚

港研参考資料　No. 14，63—9

41 Text-Book on Port and Harbor Engineering (1)（1〜453）港湾技術研究所水工部

（キリトリ線）

港研参考資料 **No. 15,** 63―9

42 Text-Book on Port and Harbour Engineering (2) (1~162) 港湾技術研究所構造部

港研参考資料 **No. 16,** 63―9

43 Text-Book on Port and Harbor Engineering (3) (1~165) 港湾技術研究所機材部

発電水力 66, 63―9

44 水力随想（3～4）畠山 正

45 水・水力開発投資の直接波及効果（5～8）三木・伊丹

46 奥新冠アーチダム工事 (1)（9～17）中村・佐藤

47 水路の粗度係数に関する外国の例 (18~20) 大橋康次

48 自動制御の安定理論より見たるサージ タンクの安定について (2) (21~23) 村瀬・辻

49 ウォルマイヤー・トンネル掘進機（Wohlmeyer Stollenbohrmaschine）の紹介 (24~29)

50 アルゼンチン雑感 (30~48) 高畑政信

51 南米コロンビヤの電力開発面の基礎調査報告 (49~55) 高井亮治

52 世界の国造りを見る (56~75) 生出久也

53 １つの池につながる２つの揚水発電所(抄録) (76~78)

54 「自然のまま」か「水力開発」か（抄録）(78~79)

55 スペインのアルデアダビラ発電所（抄録）(79~81)

発電水力 67, 63―11

56 片側に貯水池を 有するやせたあん部の地質，透水性およびグラウト工の調査試験（7～12）鈴木・小泉

57 堤体内放水管（取水管）などの 周辺部における 応力集中に関する実験的研究 (13~27) 高淵幸雄

58 アーチダム小委員会における問題点(その３) (28~33) 直村徳三

59 奥新冠アーチ ダム工事（II）(34~52) 中村・佐藤

60 自記水位計を用いた場合の 日平均流量の 決定についての一考察 (53~57) 本間・高橋

61 自動制御の安定理論より見たるサージタンクの安定 (3)(58) 村瀬・辻

62 プレパクト・コンクリート工法 (59~70) 野上強四郎

63 硝安火薬によるベンチカット爆破（抄訳）(71~76)

64 Snowy 計画における地表と地下発電所 (77~96) 鈴木範行

65 水力技術者の行く手（5～6）矢崎道美

電研所報 13-2, 63-6

66 土砂流の研究（I）固体粒子を浮遊した流れの流速分布，乱流構造の変化 (73~86) 日野幹雄

電研所報 13-3, 63-8

67 フライアッシュ コンクリートの圧縮強度とフライアッシュのポゾラン活性におよぼすマス養生の影響（1～15）徳田・伊藤

68 吸い込み部付近の流れについて（その２）層流境界層 (17~31) 佐川敏雄

69 アーチ ダムから自由落下する二次元ナップの縦断形状について (33~39) 坂本竜雄

70 コンクリートのひずみ能力，破壊強度に 対するひずみ分布の影響 (41~56) 畑野 正

71 水中構造物の振動（実在構造物の 実測と解析）(57~72) 桜井・堀井

電研所報 13-4, 63-10

72 マス コンクリート クリープの進行回復特性の差異・温度効果および寸法効果 (131~143) 君島・北原

73 無風逆転層内における煙の上昇限界（9～44）日野幹雄

一　般

Engineering News-Record 172-1, 64-1-2

74 H 杭の先端の処理について (20~21) *Silveston, B.*, 外１名

75 南ベトナムの Da Nhim Dam の完成 (22)

76 Baldwin Hills Dam (Los Angels) 崩壊原因調査

Engineering News-Record 172-2, 64-1-9

77 鉄筋コンクリート舗装用の新しい機械 (20~20)

78 プレキャストユニットを用いた鉄筋コンクリート シェル構造 (23)

79 Hong Kong の大貯水池計画 (26~28)

80 大面積のガラス板の破壊試験 (30~32)

Engineering News-Record 172-3, 64-1-16

81 30年の使用に耐える南極基地の建設 (22~23) *Payne, S.*

82 New York 州立建設技術研究所の紹介 (24~28)

23 膨張セメントを用いた屋根の施工例 (32)

Engineering News-Record 172-4, 64-1-23

84 エンパイア・ステートビルディング をしのぐ 高層ビルの計画 (33~34)

85 パナマ新運河の計画 (38~39)

86 1963 年の回顧と 1964 年の展望（特集）(41~140)

Engineering News-Record 172-5, 64-1-30

87 クローラードリルによる水中の岩盤掘削 (18~19)

88 Jordan 河の開発計画 (26~30) *Sullivan, J.B.*

89 サンド セメントとサンド アスファルト による 舗装工事例 (32~34)

Engineering News-Record 172-6, 64-2-6

90 新しい舗装目地切り機械の紹介 (36)

91 月ロケット組立用の巨大な 鉄 骨 構 造 (V.A.B. : Vertical Assembly Building) (24~28) *Tedesco, A.*

92 V.A.B. の設計チームの紹介 (46~49)

Engineering News-Record 172-7, 64-2-13

93 悪地質を克服したアースダム工事：Briones Dam (70~74)

94 グワテマラ市の建築物の傾向について (80~82) *Hunter, W.*

95 プレキャスト部材のポスト テンショニングによる コンクリート箱桁橋 (94~95)

96 化学工場に用いられた耐酸腐食性支持杭 (96~97)

97 ロサンゼルスの高速道路の現状および将来（　　）

Engineering News-Record 172-8, 64-2-20

98 Boston 市の改造計画（特集）(28~44)

Engineering News-Record 172-9, 64-2-27

99 アメリカの都市交通の問題点の討議 (19~20)

100 アスファルト舗装の改良について (24)

101 直径 190 m の鉄骨ドーム (26~32)

Civil Engineering 34-1, 64-1

102 アメリカにおける橋梁の溶接 (51~53)

103 発破の設計基準 (54~55)

104 プレキャストセグメントを用いた大径間の ＰＣ 橋梁の施工例 (43~47) *Gerwick, B.C.*

105 サンフランシスコ市の "Golden Gateway" の計画(31~39) *Herman, M.J.*, 外３名

構造・コンクリート

Beton und Stahlbetonbau 58-1, 63-1

106 アルム河にかかる高速道路橋 ―特にコンクリートの材令が収縮およびクリープにおよぼす影響について―（１～６）

（キ リ ト リ 線）

Aichhorn, J.
107 DIN 1055 6編構造物の荷重決定法「サイロ壁の圧縮応力状態」の1962 年9月公告の説明（6～11） *Pieper, K.*, 外1名
108 弾性仮わく上でプレストレスを導入した桁橋の応力状態の算定（11～16） *Krätzig, W.*, 外1名
109 ショーラー近似による円筒シエルの設計計算（17～19） *Dabrowski, R.*
110 高層建築物に用いた2方向連続版拘束係数設計法（19～21） *Eichstaldt, H.J.*

Beton und Stahlbetonbau 58-2, 63-2

111 バックナングの給水タワー（25～32） *Kaiser, A.*
112 浅い円筒シエル上屋（33～36） *Rühle, H.*
113 高層建築における水平載荷壁とラーメン構造の共働作用研究について（36～40） *Rosman, R.*
114 吹きつけコンクリート工法（40～45） *Linder, R.*

Beton und Stahlbetonbau 58-3, 63-3

115 U.S.A. における PC の応用例としてのカルフォルニア大学のガレージ（49～51） *Kulka, F.*, 外1名
116 プレキャス部材をプレストレスで結合した上屋のシエル屋根（52～55） *Hossdorf, H.*
117 フラットスラブの実用計算法（56～63） *Duddeck, H.*, 外2名
118 吹きつけコンクリート工法（63～67） *Linder, R.*
119 厚さが一様でない片持版（67～70） *Houberg, H.*, 外1名

Beton und Stahlbetonbau 58-4, 63-4

120 マール新市庁舎のけんすい構造（73～79） *Vaessen, F.*
121 10号国道のシュビーベルディングにかかるグレハムスタール橋（その1）計画および施工上の特殊問題（79～82） *Kolbe, G.*
122 10号国道のシュビーベルディングにかかるグレムシュタール橋（その2）構造，力学計算，施工（82～91） *Birkner, H.*
123 構造力学検査技師の活動について（92～94） *Mehmel, A.*
124 マラカイボ湖にかかる橋，構造と施工上の特異点（94～102） *Dimel, E.*
125 固定モーメントの影響線（102～103） *Yüksel, F.*, 外1名

Beton u. Stahlbetonbau 58-5, 63-5

126 ディーテルスハイムのバイパス橋（105～112） *Heinisch, K.*
127 張り出し支点および短いはりの配筋（112～120） *Franz, G.*, 外1名
128 10号国道のシュビーベルベンディングにかかるグレムシュタール橋（その3）支保工（121～127） *Völter, O.*

Beton und Stahlbetonbau 58-6, 63-6

129 ハーグの新しいこ線橋（129～137） *Wittfoht, H.*, 外2名
130 プレキャストPC部材と場所打ちコンクリートの合成構造物におけるクリープおよび収縮による応力緩和（137～143） *Busemann, R.*, 外1名
131 マール市庁舎中央構造物および高層建物の基礎と地震に対する安定性（2）（143～147） *Ehrhardt, H.J.*,

Beton und Stahlbetonbau 58-7, 63-7

132 ドルユツケライ会社プレストレストリブつき立体ラーメン（153～157） *Meincke, A.*, 外1名
133 PC桁支点の応力状態（157～171） *Schlech, W.*
134 PCを利用した鉄筋コンクリート橋の補強改良（172～174） *Schütt, H*, 外1名

Beton und Stahlbetonbau 58-8, 63-8

135 ボッフエム市のプラネタリウム（177～183） *Weidemann, H.*
136 鉄筋コンクリート構造物におけるせん断問題の取り扱いについて（その6）第Ⅳ・T型はりのせん断被覆程度とせん断鉄筋の種類の影響に関する実験（184～190） *Leonhardt, F.*, 外1名
137 コンクリートおよび鉄筋コンクリート工事用の新しい機械装置（191～195） *Glagow, R.*

Beton und Stahlbetonbau 58-9, 63-9

138 マラカイボ湖にかかる橋(2)（201～210） *Dimel, E.*
139 大規模な工事における新しい人工樹脂の利用（210～261） *Bührer, R.*, 外1名
140 鉄筋コンクリート構造物におけるせん断問題の取扱いについて（7），第Ⅳ章（216～224） *Leonhardt, F.*, 外1名

Beton und Stahlbetonbau 58-10, 63-10

141 場所打ちコンクリートとPCプレキャスト部材からつくるPC橋（225～229） *Keresztury, G.*
142 マラカイボ湖にかかる橋（3）（230～239） *Dimel, E.*
143 セメントペースト，モルタル，コンクリートの粘性と粘性測定装置（239～245） *Brux, G.*

Beton und Stahlbetonbau 58-11, 63-11

144 南部バーデンにあるこ線歩道橋（249～255） *Wahner, J.*
145 マラカイボ湖にかかる橋（4）（255～265） *Dimel, E.*
146 定着部のすべりによるプレストレス損失の算定法（265～268） *Kordina, K.*, 外1名
147 高層建築物の拘束応力の算定について（268～270） *Rosman, R.*

Beton und Stahlbetonbau 58-12, 63-12

148 ブラジルのアレグレ港にかけたグァイバ橋（273～279） *Leonhardt, F.*, 外1名
149 1スパンの曲線橋の設計（279～284） *Bechert, H.*
150 移動荷重による鉄筋コンクリートはりの実験（284～288） *Soretz, S.*, 外1名
151 非対称2段直線橋および曲線橋の横方向荷重配分（288～295） *Bretthauer, G.*, 外1名

Betonstein Zeitung 30-1, 64-1

152 下水きょ工事に使用される無筋，鉄筋およびプレストレストコンクリート（9～17） *Bujard, W.*
153 DIN 4028 に準拠した空洞を有する鉄筋コンクリート製品を用いて建設された屋根の版挙動（18～23） *Klein, G.*
154 セメントの水和熱を利用したコンクリートスラブの硬化促進（24～26） *Aurich, H.*
155 アメリカ合衆国におけるプレキャスト鉄筋コンクリート製品——研究旅行の印象（27～37） *Beck, H.*

Betonstein Zeitung 30-2, 64-2

156 プレストレストコンクリート柱の静的簡易計算法（49～55） *Hahn, F.J*
157 軽量コンクリート製品の産出額とその将来性（56～63） *Boldt, G.*
158 プレハブ体育館の一例（64～72） *Magistrasrat, S..T*, 外1名
159 プレカストコンクリート工場におけるほこりと噴霧水の問題（73～75） *Müller, W.*

Betonstein Zeitung 30-3, 64-3

160 フランスの住宅用ビルに用いられた工場製プレハブ重量コンクリート（102～108） *Hapmann, R.K.* 外1名
161 ビルの側壁に石材ブロックを用いる（109～116） *Hans, K.*
162 軽量コンクリート製品の産出額とその将来性（117～122）

（キリトリ線）

Boldt, G.

163 コンクリートとポリエステルの併用 (123~127) *Hermann S.*

164 コンクリート管路の水理学的効率 (128~132) *Bättig, K.*

Betonstein Zeitung 30-4, 64-4

165 コンクリート製造工場 (157~163) *Maier, E.*

166 プレカストコンクリート産業におけるオートメーション利用の現状 (171~176) *Neumann, E.*

167 震動締め固め技術とその実際 (177~181) *Joachim, S.*

168 プレカストコンクリート製品工場の保守管理 (182~190) *Niepelt, H.*

169 コンクリートの配合が収縮におよぼす影響 (191~192) *Leviant, I.*

コンクリートおよび鉄筋コンクリート (ソ連) 5, 63

170 ソ連邦におけるプレキャスト鉄筋コンクリート産業の発展計画について (193~196) Бурнаев, А.Г.

171 蒸気養生時間がコンクリートの強度におよぼす影響 (196~199) Миронов, С.А., 外2名

172 ケラムジイトコンクリート製のPC連続版 (199~204) Сунгатуллин, Я.Г.

173 軽量コンクリート製PC版の実験 (205~209)Корнев, Н.А., 外1名

174 冷間引き抜き加工した鋼材 G5 と 35 T.C. の溶接性 (210~215) Бродсий, А.Я., 外1名

175 高温時の耐熱コンクリートと鉄筋との付着力 (215~219) Милованов, А.Ф., 外1名

176 食肉加工場におけるコンクリートの腐食について (219~221) Чуико, А.В., 外1名

177 引張側にひびわれのある，曲げを受ける鉄筋コンクリート部材の収縮変形 (222~223) Метелюк, Н.С., 外1名

178 微砂を使ったモルタルおよびコンクリートの所要水量が増加する理由 (224) Галактионов, В.И.

179 円柱供試体の圧裂によるコンクリートの引張強度の測定 (225~226) Мириманов, Г.И.

180 合成樹脂によるコンクリートの接着，補修 (226~229) Фреидин, А.С., 外1名

181 PC煙突のひびわれ発生抵抗の計算 (229~233) Зырянов, В.С.

182 円形タンクの小型緊張装置によるプレストレスの導入(233~235) Клигман, М.Я.

コンクリートおよび鉄筋コンクリート (ソ連) 6, 63-3

183 ミンスクの高層デパートのプレキャスト場所打ち合成構造 (241~245) Завадивкер, Б.Н.

184 ストランド変形特性 (245~249) Ковалев, Н.Н.

185 溶接継手の耐食亜鉛被覆装置の使用実験 (249~252)Ариэли, Э.И., 外2名

186 曲げを受けるコンクリートおよび鉄筋コンクリート部材の静的強度と静的剛性 (252~257) Горнов, В.Н.,

187 アルモツエメント構造物用鋼線 (285~261) Робов, Г.С., 外1名

188 蒸気養生室温の多点計画調節 (262~265) Прохоров, М.А.,

189 大型パネル住宅水平継目の強度と変形について (265~267) Шапиро, Г.А., 外1名

190 コンクリートの中で引張られた鉄筋の応力と伸びひずみ (268~270) Тамарин, А.А.,

191 鋼線中のプレストレス測定装置の使用実験 (271~273) Берг, П.А.

192 高強度鋼線にプレストレスを与えた時に鋼線が破壊する原因 (274~276) Гомжин, Г.Н.

193 レニングラードにおける居室暖房管配置用プレキャスト鉄筋コンクリート部材の利用 (277~278) Волотовской, Д.Я.

194 鋼型わく端部の設計 (278~282) Митник, Г.С.

195 PC部材断面の設計 (282~286) Жданов, А.П.

コンクリートおよび鉄筋コンクリート (ソ連) 7, 63-7

196 軽量コンクリート製品を増産しよう (289~292) Москвин, В.М., 外2名

197 アグロポリトコンクリートの製造方法と物理的性質 (292~298) Ахвердов, И.Н., 外1名

198 大型パネル住宅用軽量コンクリート間仕切版 (298~303) Спивак, Н.Я., 外2名

199 オートクレーブ養生しないガススラグコンクリートの建築分野への利用 (303~307) Беньяминович, И.М., 外1名

200 気泡コンクリート製住宅壁中の鉄筋の状態 (307~310) Силаенков, Е.С., 外2名

201 SM-806 ミキサによるケラムジイトコンクリートの練り混ぜ (311~314) Помельников, М.И., 外2名

202 コンクリート打設自動装置による軽量ケラムジイトPC壁パネルの製造実験 (314~316) Митиченко, Т.А., 外1名

203 ガスアッシュコンクリート製断熱版の電熱養生 (316~319) Федынин, Н.Н., 外1名

204 セメントを使用しない，粒状アッシュアグロポリトコンクリートのオートクレーブ養生 (319~322) Иванов, И.А.

205 ケリバジャル産膨張パーライトを使ったコンクリート(322~324) Адиев, А.Г.

206 ケラムジイトコンクリート用ケラムジイト骨材 (325~327) Сорокер, В.И., 外1名

207 せん断力の作用する鉄筋コンクリート部材への設計 (328~330) Богаткин, И.Л., 外1名

コンクリートおよび鉄筋コンクリート (ソ連) 8, 63-8

208 PC部材のグラウト注入に関する国際規格 (339~341) Васильев, А.П., 外2名

209 くり返えし荷重を受ける鉄筋コンクリートはりの応力状態 (341~345) Михайлов, К.В., 外1名

210 鉄筋コンクリート強度の電子工学的管理方法 (345~349) Тлуховской, К.А., 外2名

211 農産物加工場のプレキャスト鉄筋コンクリート構造 (350~354) Михалченков, М.И., 外2名

212 ケラムジイトコンクリートの熱伝導係数設計値について (354~356) Осипов, Л.А.

213 工業建築用プレキャスト鉄筋コンクリート製品の輸送上の経済性 (357~360) Буданов, Б.Ф.

214 鉄筋コンクリート構造物用鉄筋製造組織と製造技術の向上 (361~363) Гирский, В.А., 外1名

215 多段成形法によるPCトラスの製造 (364~366) Давидович, М.Б., 外1名

216 モスクワ都市域における軽量コンクリートの使用実験(366~369) Жуков, В.М., 外2名

217 コンクリートの硬化にともなう蒸気養生室の自動制御(369~371) Игнатьев, К.С., 外1名

218 らせん状PC鋼線を配置した偏心圧縮材 (371~376) Смолин, Н.И., 外1名

219 遠心機の近代化と自動化 (376~377) Имиль, А.И.

220 持続載荷時の合成桁の設計について (377~379) Толышев, А.Б.

(キリトリ線)

221 新規格(СНиП П-В, 1-62) による，変断面ＰＣはり変形の実用計算法 (379～384) Бердичевский, Г.И.

コンクリートおよび鉄筋コンクリート（ソ連）9, 63-9

222 橋梁建設用プレキャストＰＣ部材 (385～389) Андреев, В.Г.

223 トンネル建設用プレキャスト鉄筋コンクリート部材 (389～392) Якобс, В.В.

224 圧縮側に３軸ＰＣ部材を配置した合成はり (393～397) Михайлов, В.В., 外１名

225 鉄筋コンクリート橋設計上の基本原理 (398～401) Лялин, Н.Б.

226 プレキャスト鉄筋コンクリート製桁橋部材の統一 (401～406) Крылов, Ю.К.

227 大径間鉄筋コンクリート橋用ストランド鉄筋 (402～410) Троицкий, Е.А

228 ７本よりストランドの定着具の研究 (410～413) Руф, Л.В.

229 高速道路橋用合成鉄筋コンクリートはり (413～417) Казарновский, В.С.

230 トラス橋の鉄筋コンクリート製格点ブロックの応力状態の研究 (418～421) Бобриков, Б.В. 外２名

231 傾斜したスタラップを持つ鉄筋コンクリートはり (422～424) Иосилевский, И.И., 外１名

232 熱間加工鉄筋を使った鉄筋コンクリート大はり (424～426) Гузеев, Е.А.

233 侵食性地盤にある鉄道トンネル用プレキャスト鉄筋コンクリート覆工部材 (427～429) Власов, С.Н.

234 収縮と人工調整力とを考慮した合成桁の設計 (429～432) Тибчiман, М.Е.

コンクリートおよび鉄筋コンクリート（ソ連）10, 63-10

235 大型パネル住宅建築先駆工場の施工実験を急速に普及させよう (433～436) Максимов, С.Я.

236 大型パネル住宅の外壁につくった自動脱水性継手 (436～441) Кузнецов, Г.Ф.

237 白ロシアにおける大型パネル建築の改良 (441～446) Заровкина, Н.С., 外２名

238 プレキャスト鉄筋コンクリート製品工場建設用規格はり (утп-1) (446～449) Сусников, А.А., 外１名

239 多連型わくによる鉄筋コンクリート製品の電熱養生実験 Зильберберг, С.Д., 外１名

240 大型パネル建築用鉄筋コンクリート製品の鉄筋とさしこみ金具の定着 (450～452) Леви, С.С., 外１名

241 1-464 型大型パネル住宅用アルモツエメント製屋根板(453～455) Родов, Г.С., 外３名

242 大型パネル構造のダウエル継手の強度と変形 (455～458) Блюгер, Ф.Г., 外１名

243 柱と基礎ブロックとのコップ型継手の挙動の究研 (459～462) Королев, Л.В., 外１名

244 プレキャスト鉄筋コンクリート部材によるトンネル覆工建設について (462～464) Антонов, О.Ю.

245 地下鉄トンネル用１体式ＰＣ覆工ブロック (464～466) Гельман, Я.Г.

246 トンネル覆工用鉄筋コンクリートブロック継目の挙動の研究 (466～468) Краснов, М.И.

247 鉄筋コンクリート橋の振動実験結果 (469～470) Бондарь, Н.Г., 外３名

248 底部に力が作用した時の角型サイロ壁中の力の算定 (470～475) Трухпоб, А.М., 外１名

249 冬期における大型パネル住宅の組み立て (475～478) Белицкий, В. (ワルソー)

250 コンクリートおよび鉄筋コンクリートの防食 (478～480) Москвин, В.М., 外１名

コンクリートおよび鉄筋コンクリート（ソ連）11, 63-11

251 工業建築分野に３次元構造部材を広く採用しよう (481～485) Тлуховской, К.А.

252 工業建築用プレキャスト鉄筋コンクリート合成シエルの解析 (485～489) Костюковский, М.Г., 外１名

253 円筒シエルの使用実験 (489～495) Паьлоь, А.П., 外４人

254 凍結した後，正温度で養生したコンクリートの強度増加について (495～501) Миромов, С.А., 外１名

255 ストランドを電熱して行なうＰＣ部材の冬期注入 (502～508) Васильев, А.П., 外１名

256 正曲率を持つ浅いプレキャスト鉄筋コンクリートシエル (509～512) Павилайнен, В.Я., 外１名

257 ２次元曲率を持つプレキャスト鉄筋コンクリートシエル模型の実験的研究 Васильков, Б.С.

258 寸法 3×12 m のＰＣ双曲線シエル (516～519) Белецкий, Ю.И.

259 シベリアの冬期に打設したコンクリートの性質の研究(519～521) Арбеньев, А.С.

260 振動加圧成形したモルタルの凍結抵抗 (521～523) Попов, Л.Н.

261 ブルガリアにおけるＰＣ構造 (524～525) Дочев, Д.Х.

262 ブルガリアにおけるケラムジイトパーライトコンクリート (526～528) Петков, Н.В.

コンクリートおよび鉄筋コンクリート（ソ連）12, 63-12

263 水ガラスを使った構造用耐熱ケラムジイトコンクリート (529～532) Некрасов, К.Д., 外１名

264 ストランドを使用した寸法 3×12 m の工業建築用ＰＣ屋根板 (532～537) Галканова, Н.Д., 外１名

265 硝酸ナトリウムを混入した寒中コンクリートによるパネル住宅継目の施工 (537～540) Шишкин, А.А., 外１名

266 耐力構造用軽量モルタル (540～542) Сатин, М.С., 外１名

267 曲げ上げ鋼線の電熱緊張時の応力損失 (543～545) Цейтлин, С.Ю.

268 鉄筋コンクリートはりの強度実験 (545～547) Чижов, А.М.

269 直線化加工台上で鉄筋を曲げ直す時の応力損失 (548～550) Богин, Н.М.

270 コンクリートおよび鉄筋コンクリート用石灰一アッシュ系結合材 (551～554) Чебуков, М.Ф., 外１名

271 ダイヤフラムのないプレキャストＰＣはり製道路橋の施工実験 (554～555) Словинский, Ю.Б.

272 複雑な応力分布位置の配筋設計 (555～557) Носарев, А.В.

273 フラットジャッキの研究 (558～561) Русаков, И.М., 外１名

274 硬化促進剤を混入したコンクリート中のポルトランドセメントの水和熱の算定 (561～565) Мягков, А.Т.

275 労働衛生の点からみた気泡コンクリート製造の機械化自動化の意義 (565～566) Ретнев, В.М.

Revue des Materiaux de Constr. et de Trav. Publ. 568, 63-1

276 常温高圧下における２カルシウムシリケートの β-γ 変態 (1～3) *Yannaquis, N.*, 外１名

277 ポルトランドセメント，高炉セメント，高硫酸塩セメントコンクリートの蒸気養生とオートクレーブ養生 (4～14) *Blondian, L.*

（キリトリ線）

278 コンクリート中の鉄筋が急速に破壊する2つの場合(15～18) *Steopol, A.*

279 石灰質骨材の1部を石英砂で置き換えることによるモルタルの耐食性の向上 (19～33) *Kappinski, J.Y.*

Revue des Materiaux de Constr. et de Trav. Publ. 569, 63-2

280 示差熱分析法による1600°C までの固相反応の研究(37～47) *Courtault, B.*

281 粉末比表面積の工業的管理を目的とした手動装置の研究 (48～51) *Papadakls, M.*, 外1名

282 ポルトランドセメント, 高炉セメント, 高硫酸塩セメントコンクリートの蒸気養生とオートクレーブ養生 (52～63) *Blondian, L.*

283 まだ固まらないコンクリートが振動を受けた時の挙動に関する調査結果 (63～64) *Robut, P.*

Revue des Materiaux de Constr. et de Trav. Publ. 570, 63-3

284 示差熱分析法による1600°C までの固相反応の研究(完) (67～78) *Courtault, B.*

285 粉体比表面積の自動測定装置 (79～81) *Papadakis, M.*

286 ポルトランドセメント, 高炉セメント, 高硫酸塩セメントコンクリートの蒸気養生とオートクレーブ養生 (82～97) *Blondian, L.*

287 侵食作用を受けるコンクリートの中の鉄筋のふ食に関する研究 (98～99) *Moldovan, V.*

Revue des Materiaux de Constr. et de Trav. Publ. 571, 63-4

288 セメント原料スラリーの流動性の研究 (103～109) *Papadakis, M.* 外1名

289 示差熱分析法による1600°C までの固相反応の研究(続) (110～124) *Courtault, B.*

290 ポルトランドセメント, 高炉セメント, 高硫酸塩セメントコンクリートの蒸気養生とオートクレーブ養生(続)(125～135) *Blondian, L.*

Revue des Materiaux de Constr. et de Trav. Publ. 572, 63-5

291 示差熱分析法による1600°C までの固相反応の研究(続) (143～156) *Courtault, B.*

292 ボールミルの相似性の問題の研究について (157～162) *Papadakis, M.*

293 ポルトランドセメント, 高炉セメント, 高硫酸塩セメントコンクリートの蒸気養生とオートクレーブ養生 (163～167) *Blondian, L.*

294 粉砕に関する第1回欧州シンポジウム (171～176)

295 エロファルミルの利用に関する新しい展望 (177～179) *Témoih, A.*

Revue des Materiaux de Constr. et de Trav. Publ. 573, 63-6

296 セメントの凍結抵抗に関する研究報告 (181～189) *Venuat, M.*

297 示差熱分析法による1600°C までの固相反応の研究(完) (190～203) *Courtault, B.*

298 ポルトランドセメント, 高炉セメント, 高硫酸塩セメントコンクリートの蒸気養生とオートクレーブ養生(完)(204～216) *Blondian, L.*

Revue des Materiaux de Constr. et de Trav. Publ. 574-575, 63-7～8

299 種々の状態にある断熱壁の水理アナロジー的研究 (219～228) *Janicot, R.*

300 セメントの凍結抵抗性の研究報告(完) (229～252) *Venuat, M.*

301 製品用コンクリートにおけるポゾランの利用 (254～264) *Jarrige, A.*

Revue des Materiaux de Constr. et de Trav. Publ. 576, 63-9

302 セメントの新しい化学成分分析法 (271～275) *Stiglitz, P.*, 外1名

303 セメントモルタル用混和剤―珪弗化ソーダ (276～289) *Manolescu, O.*, 外1名

304 種々の状態にする断熱壁の水理アナロジー的研究 (290～299) *Janicot, R.*

305 ポルトランドセメント, 高炉セメント, 高硫酸塩セメントコンクリートの蒸気養生とオートクレーブ養生 (300～302) *Blondian, L.*

Revue des Materiaux de Constr. et de Trav. Publ. 577, 63-10

306 セメント工業におけるX線の利用 (307～311) *Alégre, R.*

307 火山灰およびポゾランの活性度判定法 (312～317) *Forest, J.* 外1名

308 耐火材の挙動の研究における化学分析法, 相分析法の応用 (318～323) ***Forest, J.***

309 フランスにおける規格制定以後のポゾランセメント (324～326) *Guillaume, L.*

310 コンクリートの硬化速度について (527～529) *Dreux, C.*

311 コンクリートの密度の測定と測定結果 (332～334) *Duhoux, L.*

312 粒状スラグコンクリート (335～347) *Roquejoffrc, J.*

Revue des Materiaux de Constr. et de Trav. Publ. 579, 63-12

313 セメントと接触した石灰石のしみ (391～399) *Venuat, M.*

314 ポルトランドセメント, 高炉セメント, 高硫酸塩セメントコンクリートの蒸気養生とオートクレーブ養生(完)(400～414) *Blondian, L.*

315 第4回国際コンクリート製品会議 (415～423)

Revue des Materiaux de Constr. et de Trav. Publ. 580, 64-1

316 正リン酸含有セメントとリン酸アルミニウム塩の研究について (1～12) *Forest, J.*

317 セメント包装紙の研究 (13～23) *Venuat, M.*

318 侵食性水中にあるコンクリートの保護方法 (24～28) *Bonzel, J.*

319 コンクリートの高温養生における前養生時間の効果について (29～30) *Aurich, H.*

Revue des Materiaux de Constr. et de Trav. Publ. 581, 64-2

320 正リン酸セメントとリン酸アルミニウム塩の研究について (31～44) *Forest, J.*

321 セメント包装紙の研究(完) (45～58) *Venuat, M.*

322 粉砕機の閉回路方式と開回路方式の比較 (59～61) *Papadakis, M.*

323 ポリビニルアセテートエアマルジョンによるセメントモルタルの改良 (62～65) Phone-Poulenc 社の技術課

Revue des Materiaux de Constr. et de Trav. Publ. 582, 64-3

(キリトリ線)

324 ＰＣ用注入モルタルの流動性管理（第２部）(67～77) *Papadakis, M.*, 外１名

325 正リン酸セメントとリン酸アルミニウム塩の研究について (78～90) *Forest, J.*

Revue des Materiaux de Constr. et de Trav. Publ. 583, 64-4

326 マンガン，硫黄をふくんだ MgO-CaO-Al_2O_3-SiO_2 系高炉スラグの水硬性 (95～110) *Solacolu, S.*, 外１名

327 正リン酸セメントとリン酸アルミニウム塩の研究について (111～122) *Forest, J.*

328 セメント工業用石灰石粉砕の近代化 (123～127) *Sauvage, P.*, 外１名

水理・港湾

Proc. A.S.C.E., WW 89-1, 63-2

329 砕波による混成防波堤の滑動について (１～20) *Nagai, S.*

330 ソ連における海岸防波構造物の模型実験について (21～34) *Kabelac, O.W.*

331 防舷材に関するエネルギー過程について (37～50) *Li, S.T.*

332 捨石防波堤の設計公式（討議）(51～55) *Brandtzaeg, A.*

333 沿岸輸送比の実験的決定法について（討議）(57～59) *Galvin, C.J.*

334 外海のパイプラインに対する波力係数について (61～65) *Wilson, B.W.* 外１名

335 1861 年における河川水理学について（討議）(67～70) *Kolupaila, S.*

336 テキサス州カナデイアンにおけるカナデイアン川の安定（討議）(71～91) *Weller, H.E.*

337 防波堤頂部に作用する波力について（討議）(73～73) *Deignan, J.E.*

338 ストームサージの計算機による計算（討議）(75～76) *Harris, D.L.*

339 フレッキシブルな振動シリンダーに作用する水力について (77～78) *Muga, B.J.*

Proc. A.S.C.E., WW 89-2, 63-5

340 船舶けん引力の計算について（討議）(105～106) *Levinton, Z.*

341 スーパータンカーに対する外海船舶けん引島について（討議）(99～104) *Blancato, V.*, 外１名

342 ビザガパダムにおける補強防波堤について（討議）(93～98) *Hiranandami, M.G.*, 外２名

343 くい上のピアーのダイナミックレスポンスと安定性について(討議) (85～91) *Reese, L.C.* 外１名

344 テキサス州カナディアンにおけるカナディアン河の安定性について（討議）(83～84) *Beyers, W.G.*

345 遊水池における波に対する天端高の許容量について（討議）(81～) *Saville, T.*, 外２名

346 浮き防波堤について（討議）(79～80) *Wiegel, R. L.*, 外２名

347 船舶けん引力について（討議）(77～78) *Woodruff, G.B.*

348 ニューヨーク港のハリーケーンに関する研究（討議）(75～76) *Gofseyeff, S.*, 外１名

349 複合斜面への波の遡上に対する小段の影響について (55～74) *Herbich, T.B.* 外２名

350 波高の統計に関する研究 (29～54) *Goodknight, R.C.*, 外１名

351 ドライドックについて (16～29) *Ayers, J.R.*, 外２名

352 1933 年以降のクレアー河の水路変遷について (１～15) *Korkigian, I.*

Proc. A.S.C.E., WW 89-3, 63-8

353 危険規準（波高の発生確率について）(１～36) *Borgman, L.E.*,

354 漂砂模型に対する設計波について (37～49) *Silvester, R.*

355 捨石防波堤の設計公式（討議）(49～51) *Sree, R.*

356 外海のパイプラインに対する波力係数（討議）(52～53) *Beckmann, H.*, 外１名

357 防波堤に作用する波力（討議）(54～57) *Sigurdsson, G.*

358 高潮の計算機による解法について（討議）(59～59) *Davis, H.R.*

359 フレッキシブルな振動シリンダーに作用する波力（討議）(61～61) *Laird, A.D.K.*

360 船舶けん引力の計算（討議）(63～70) *Li, S.T.*

Proc. A.S.C.E., WW 89-4, 63-11

361 ソ連における海岸防護構造物の模型について（討議）(99～100) *Kabelac, O.W.*

362 砕波による混成堤の滑動について（討議）(92～99) *Nagai, S.*

363 鋼突堤によるアルービアル河のコントロールについて（討議）(89～90) *Carlson, E.J.*, 外１名

364 くい上のピアーのダイナミックレスポンスと安定について（討議）(87～89) *Michalos, J.*

365 水路の改良の環境変化におよぼす影響(１～12) *Nichols, R. B.*

366 河川調節に対するモデル (13～28) *Sheerar, L.L.*

367 アーカンソー河の安定に関する水理学的考察 (29～65) *Petersen, M.S.*

368 氾らん原の改良による人間環境の変化 (67～84) *Goddard, J.E.*

Proc. A.S.C.E., WW 90-1, 64-2

369 線型変化による長波の修正法について(１～29) *Dean, R.G.*

370 TVA のマルティポートロックの操作法について (31～46) *Elder, R.A.*, 外２名

371 ロックの操作法について (47～59) *Nelson, M.E.*, 外１名

372 ロック端の操作法について (61～77) *Brown, F.R.*

373 ロックゲートとバルブについて (79～102) *Richardson, G.C.*

374 カスピ海の調節 (103～113) *Kabelac, O.W.*

375 湖の断崖の後退について (115～134) *Pincus, H.J.*

376 船舶けん引力の計算について（討議）(137～150) *Li, S.T.*

377 1933 年以後のセント・クレアー河の水路変遷について（討議）(151～151) *Kimball, V.L.*

378 波高に関する統計的研究(討議) (153～166) *Bretschneider, C.L.*

379 危険規準（討議）(167～170) *Cornell, C.A.*

380 水路改良による環境の変化(討議) (171～172) *Vogel, H.D.*

381 アーカンサス河安定に関する水理学的考察(討議) (173～173) *Carey, W.C.*

Proc. A.S.C.E., WW 90-2, 64-5

382 砂床水路の支配構造物について (１～18) *Stepanich, F.C.*, 外２名

383 スーパータンカーに対する沿岸けい船島（討議）(21～26) *Blaucats, V.*, 外１名

384 砕波による混成堤のスライディングについて(討議)(27～27) *Nagai, S.*

385 ソ連における海岸防波構造物の模型実験（討議）(29～32)

（キリトリ線）

Kabelac, O.W.

386 水路の改良にともなう環境変化について（討議）(33～34) *Bottoms, E.E.*

387 アーカンサス河安定に関する水理学的考察（討議）(35～37) *Li, S.T.*, 外1名

388 氾らん原の改良による人間環境の変化（討議）(39～46) *Dalrymple, T.*

Wasserwirtschaft 53-11, 63-11

389 Erft 川流域の利水状況 (385～391) *Linder, W.*

390 自流式発電所を利用したピークロード運転 (391～397) *Starosolsky, Ö.* 外1名

391 Affoldern 堤防の土圧軽減とその処置後の電気物理探査 (398～403) *Fritsch, V.*

392 強い放射性降雨によるダムの貯水からの，上水道供給の危険性について (404～406) *Bernhardt, H.*, 外1名

393 Elbe 川の流量と鰻漁獲高 (406～409) *Mann, H.*

394 Geestacht 取水ダム (5) (409～413) *Krause, M.* 外1名

Wasserwirtschaft 53-12, 63-12

395 ギリシャの Kentron ダム計画 (421～426) *Breth, H.*, 外1名

396 ナイル川とユーフラテス川の間の近東乾燥地帯における，蒸発の水収支の決定 (427～438) *Haude, W.*

397 河川分級のための水利法的および経済的考慮 (438～443) *Keune, H.*

398 チューブラー水車2基を備えた Neckar 会社の Deizisau水力発電所 (443～444) *Gamer, E.*

399 自動水質試験採水器 (445～446) *Schuà, L.*, 外1名

400 最近のダムの魚道―オランダ語からの全訳― (446～450) *Jens, G.*

401 上水道用ダムにおける放射能の分布 (450～452) *Bernhardt, H.*

402 利水関係における航空写真と写真測量 (453～457) *Richter, H.*

Wasserwirtschaft 54-1, 64-1

403 バイエルンの利水計画 (1～7) *Kirgis, L.*

404 水力特別委員会 (8) *Christaller, H.*

405 カプラン水車試験検査の際の経験 (9～14) *Reincke, U.*

406 段落上流部の定常的遷移流について (15～18) *Garbrecht, G.*

407 力積量とエネルギー水頭との関係―開水路流と限界水深の討議 (1) (18～24) *Neumüller, M.*

408 1962年5月から1963年4月までの地域別平均雨量と，長期間の平均値との比較 (24～26) *Johannsen, H.H.*

Water Power 15-4, 63-4

409 水火力混成の発電系統における水力の評価 (165～172) *Chapman, E.J.K.*

410 自流式発電所の尖頭負荷運転―I (139～144) *Starosolszky, Ö.*, 外1名

411 水車のガバナー系統の試験 (157～164) *Hutarew, G.*

412 Grande Dixence―I (145～154)

413 In-Situ 岩盤試験に関する討論 (155～156)

414 Ffestiniog 揚水式発電所の開発―I (185～191)

Water Power 15-5, 63-5

415 自流式発電所の尖頭負荷運転―II (192～195) *Starosolszky, Ö.*, 外1名

416 水車のガバナー系統の試験―II (196～200) *Hutarew, G.*

417 Grande dixence (水力発電)―II (201～210)

418 地域的な送電の相互連繋と国家的な送電網 (211～215) *Sewell, W.R.D.*

Water Power 15-6, 63-6

419 水車ガバナー系統の試験―III (243～248) *Hutarew, G.*

420 Ffestiniog 揚水式発電所の開発―II (250～257)

421 花崗岩―I (237～242) *Rickey, J.E.*

Water Power 15-7, 63-7

422 Miranda 水力発電所―I (273～283)

423 平面に作用する静水圧の新計算法 (284～286) *Jones, L.E.*

424 地域的な送電の相互連繋と全国的な送電網―III (287～294) *Sewell, W.R.D.*

425 Mauvoisin 水力開発計画―II (295～302)

426 花崗岩―II (303～307) *Richey, J.E.*

427 ラジオアイソトープ利用による融雪による流出量の予想 (308～309)

Water Power 15-8, 63-8

428 Great Lake の水力の開発 (317～323) *Colebatch, G.T.*, 外2名

429 ブラースクの 23万kW の水車 (324～325)

430 Miranda 水力発電所―II (338～346)

431 指数曲線の狭さく部断面をもったベンチュリーフレームの水位流量曲線 (333～337) *Diskin, M.H.*

432 花崗岩 (326～332) *Richey, J.E.*

433 英国の電力会議における水力の研究 (347～347)

Water Power 15-9, 63-9

434 South Saskatchewan 川計画 (1) (361～368) *Mackintosh, I.B.*

435 地殻中の応力状態に関する国際会議 (369～373)

436 花崗岩 (4) (374～382) *Richey, J.E.*

437 IEC 水車委員会 (383～384)

438 岩洞電力計画 (385～391) *Sato, T.*

439 水理学および水力機械に関するインド科学研究所シンポジウム (392～394) *Seetharamaiah, K.*

Water Power 15-10, 63-10

440 South Saskatchewan 川計画 (2) (403～408) *Mackintosh, I.B.*

441 花崗岩 (5) (409～422) *Richey, J.E.*

442 水車の運転障害 (418～422) *Parmakian, J.*

443 Derbendi Khan 計画 (1) (423～431) *Blanc, G.J.*

444 ベニス尖頭負荷シンポジウム (1) (432～438)

Water Power 15-11, 63-11

445 Derbendi Khan 計画 (2) (447～456) *Blanc, G.J.*

446 単位勾配図のマニング公式への応用例 (457～459) *Jones, L.E.*

447 スルースゲート (460～466) *Bleuler, W.*

448 ベニス尖頭負荷シンポジウム (2) (467～474)

449 花崗岩 (6) (475～481) *Richey, J.E.*

Water Power 15-12, 63-12

450 2パラメータによる水叩き面高さの決定法 (503～504) *Advani, R.M.*

451 花崗岩 (7) (505～509) *Richey, J.E.*

452 Abiquiu ダムにおけるホイール掘削機 (510～515) *Mackintosh, I.B.*

453 ベニス尖頭負荷シンポジウム (3) (516～523)

Water Power 16-1, 64-1

454 コンクリートダムの模型に関するシンポジューム (38～41) *Zienkiewicz, O.C.*

455 Rheidol 計画―II (28～37)

（キリトリ線）

456 開水路の不等流 (26～27) *Francis, J.R.D.*
457 第10回 IAHR 会議―I (20～25)
458 Aldeadávila 水力発電所―I (5～13)
459 強制跳水―I (14～19) *Rajaratnam, N.*

Water Power 16-2, 64-2

460 揚水発電所への Gibson 法の応用 (80～82) *Pearsall, I.S.*
461 Aldeadávila 水力発電所―II (71～79)
462 第10回 IAHR 会議―II (66～70)
463 強制跳水―II (61～65) *Rajaratnam, N.*
464 Farrar 谿谷, Kilmorack の開発計画―I (50～60)

Water Power 16-3, 64-3

465 大鉄管路の建設の問題と溶接管理 (107～113) *Bier, P.J.*
466 Farrar 谿谷, Kilmorack の開発計画―II (95～106)
467 第10回 IAHR 会議 (122～126)
468 Chanrion トンネルの掘削 (114～121) *Bretz, K.W.*
469 第10回 IAHR 会議―III (122～127)

Water Power 16-4, 64-4

470 調節ゲートの流出係数 (152～159) *Anwar, H.O.*
471 Lima の給電拡張 (1) (160～164) *Ribi, R.*, 外1名
472 開水路定常流の履歴現象 (147～151) *Ahecasis, F.M.*. 外1名
473 Roseires ダム (139～146)

Water Power 16-5, 64-5

474 Awe 計画 (179～192)
475 複雑な基礎岩盤上のバットレス ダム (193～198) *Zienkiewicz, O.C.*, 外1名
476 アーチダムと基礎の挙動 (199～207) *Serafin, J.L.*
477 Maugla 計画 (208～209)
478 岩盤力学とダムの設計 (210～217) *Jaegen, C.*
479 アースダム建設における米国の進歩 (218～225) *Mackintosh, I.B.*
480 ダムセメント工事の若干の特色 (226～231) *Lancaster-Jones P.F.F.*

Water Power 16-6, 64-6

481 Lima の給電拡張 (2) (243～250) *Rifi, R.*, 外1名
482 Panshet および Khadakwasla Dams 崩壊について (251～252) *Hunter, J.K.*
483 管およびトンネル径の概算 (253～256) *Frank, P.G.*
484 土木技術者養成における地質学 (257～258) *Duncan, N.*
485 Yukon 川の水力 (1) (259～263) *Sewell, W.R.D.*
486 サージタンクの水振動 (264～270) *Naber, G.*
487 ピーク用の水力および揚水発電 (271～274) *Rheingans, W.J.*

La Houille Blanche 18-4, 63-7

488 ペルトンの水車の効率と流量に対する縮尺の影響に関するデータ (387～392) *Vercasson, M.*
489 空洞現象を音響学的な方法で観測する方法とその検討 (393～394) *Rata, A.*
490 塗装と非溶食性金属。ランス潮力発電所構造物を海水による腐食からまもる研究 (395～402) *Licheron, S.*, 外1名
491 ステンレス鋼の陰極法による防食。ランス潮力発電所構造物を海水による腐蝕からまもる研究 (403～406) *Legrand, R.*, 外1名
492 地下水の地球物理学的探査 (407～413) *Breusse, J.J.*
493 1962年9月のユトレヒトでのかんがいと排水に関する国際会議と，1962年10月アビニヨンでの農業土木国際会議で検討された農業水理学の現在の問題 (414～416) *Carlier, M.*
494 詳細な水文学図とその河川の研究への有用性 (417～422) *Tricart, J.*
495 Hante-Garonne 県の Palaming 水路での粗度係数の変化その他 (423～432) *Castex, L.*, 外2名
496 政府の水全般に関する諮問に対する水資源委員会の答申 (433～438) *Chéret, I.*
497 ライン川の構造物の技術白書 (439～458) *Lefoulon, R.*
498 積分法により，放射性同位元素をトレーサーとして用い，フランスで行なった流量測定 (459～473) *Hours, R.*, 外2名

La Houille Blanche 18-5, 63-8～9

499 反復演算子による波の伝播の問題の解 (513～524) *Abbott, M.B.*
500 井底が不透水層に達しない場合の，自由地下水からの井戸の揚水量 (525～535) *Zaoui, J.*
501 広頂堰の越流係数の実験的研究 (537～545) *Govinda Rao, N.S.*, 外1名
502 ペルトン水車の効率と流量に対する縮尺の影響に関するデータ (547～560) *Vercasson, M.*
503 Durance 川の改修 (561～578)
504 接近した二つの平行な平板の間の流れの現象の可視化と，その空げき性物質の中の流れへの応用 (579～586) *Fur, B, L.*, 外1名
505 水流の可視化の方法 (587～595) *Werlé, H.*

La Houille Blanche 18-6, 63-10

506 河川の汚濁 (631～632) *Koch, M.P.*
507 自然地表流水 (633～640) *Chartier, M.*
508 汚濁による河川の分類と汚濁対策法案 (641～646) *Chéret, M.I.*
509 汚濁による河川の分類をセーヌ川流域に適用すると (647～653) *Coutris, R.*
510 アーチ ダム 1. アーチダムの考え方と計算における真実，逆説，矛盾 (655～663) *Patin, P.*, 外1名
511 開水路の三次元流 (665～669) *Engelund, F.*
512 空洞現象の音響学的方法による観測 (671～677) *Rata, M.*
513 超高速撮影と高圧下での沸騰 (679～686) *Séméria, R.*
514 沸騰および脱気現象に応用されたシュリーレン法 (687～691) *Béhar, M.*, 外1名
515 ストロボスコープによる気泡の研究 (692～696) *Béhar, M.*

La Houille Blanche 18-7, 63-11

516 アーチダムII. 薄いドームと静的に決定された構造 (725～738) *Patin, P.*, 外1名
517 密度流実験の相似性について (739～766) *Barr, D.I.H.*, 外1名
518 コロンビアのための水力発電計画 (767～774) *Fontaine, E.*
519 主流に対して90°の分水路内の流れを推定する新しい方法 (775～778) *Krishnappa, G.*, 外1名
520 フランス電力で標準型の馬蹄形トンネルの限界水深損失図 (779～782) *Marcel, R.*
521 1963年4月にピサで行なわれた第8回水理学会議の報告 (783～788) *Ramette, M.*

La Houille Blanche 18-8, 63-12

522 液体力学に用いられる数学的技術 (833～841) *Caseau, P.*
523 セーヌ川流域に建設中のダムの役割と利用 (842～851) *Coulomb, R.*
524 ブルターニュの水資源の開発 (852～861) *Talureau, P.*
525 ガロンヌ川支川 Salat 川の水文学 (862～869) *Dubou, A.*
526 フランス水工協会技術部会の大会 (1963年11月) の概要

(キ リ ト リ 線)

(870～876)

527 フランス水工協会「流量研究委員会」の活動報告 (877～883) *Deymié, Ph.*

528 帯水層内の拡散の問題のアナログ計算機による解 (885～896) *Lagarde, A.*

529 模型を使った滲透流の運動の研究 (897～908) *Sourieau, P.*

530 都市交通の問題に水理学からのアプローチ (909～916) *Fortet, R.*

Jour. of the Water Pollution Control Federation 36-1, 64-1

531 国民・政治・水質汚濁 (1～9) *Daly, J.C.*

532 米国 WPCF：水質汚濁防止に関する声明 (12～13)

533 活性汚泥法による ABS 分解の迅速かつ正確な試験法 (14～37) *Sweeney, W.A.*, 外1名

534 宇宙船廃水の処理と飲料水への再生(38～50) *Ingram, W.T.*, 外3名

535 アフリカの小都市における下水安定池 (51～68) *Hodgson, H.T.*

536 第一段階 BOD 公式の図式化 (69～71) *Fujimoto, Y.*

537 柑橘類廃水の活性汚泥処理 (72～79) *Dougherty, M.H.*

538 海底敷設汚泥管の清掃 (80～83) *Galloway, R.N.*

539 レンズ状地層中の地下水流のモデル実験 (84～87) *Lehr, J.H.*

540 廃水中の放射能の測定法 (88～95) *Houghey, F.J.*, 外1名

541 石油精製業廃止の処理施設 (96～102) *Prather, B.V.*

542 廃水処理施設の有効適切な運営 (103～108) *Long, W.E. Jr.*

543 カリフォルニア州 San Diego の下水における大腸菌群数の了紙法カウントと MPN の比較 (109～117) *Hoffman, D.A.*, 外3名

544 電気機器の保守 (118～122) *Schneider, W.*

Jour. of the Water Pollution Control Federation 36-2, 64-2

545 モデル地区における下水—工業廃水の混合処理について(討論会) (135～167) *Watson, K.S.*, 外2名

546 労働安全のために注意すべきこと (168～175) *Mann, U.T.*, 外1名

547 放射性燐 P^{32} を用いた活性汚泥の呼吸と物質代謝の比較 (176～200) *Varma, M.M.*, 外1名

548 高濃度放射性廃棄物の処分 (201～216) *Eliassen, R.*

549 下水処理場従業員の資格免許について WPCF (1963) (217～239)

550 魚による水中の殺虫剤の検知実験 (240～253) *Weiss, C.M.* 外1名

551 水質保全の社会的・経済的意義 (254～262) *Kneese, A.V.*

Jour. of the Water Pollution Control Federation 36-3, 64-3

552 第2回国際水質汚濁研究会議(東京1964年)論文抄録(265～331)

553 下水処理場の腐食コンクリー構造物の補修 (332～341) *Betz, J.M.*

554 小型 DO(溶存酸素)現場試験セット (342～344) *Scott, R.H.*

555 下水工業廃水の混合処理と別個処理に関するシンポジウム (345～361) *Stein, M.*, 外3名

556 下水処理場電気設備の設計について (362～379) *Salvatorelli, J.J.*

557 コロンビア河の水資源計画 (380～394) *Towne, W.W.*, 外2名

558 水中硝酸塩の鉄粉，水酸化鉄による還元 (395～398) *Young, G.K.*, 外3名

(キリトリ線)

広　告　目　次

広 告 目 次

広 告 取 扱 店

株式会社 共 栄 通 信 社

東京都中央区銀座西 8—8
TEL (572) 3 3 8 1 ～ 5 (代)

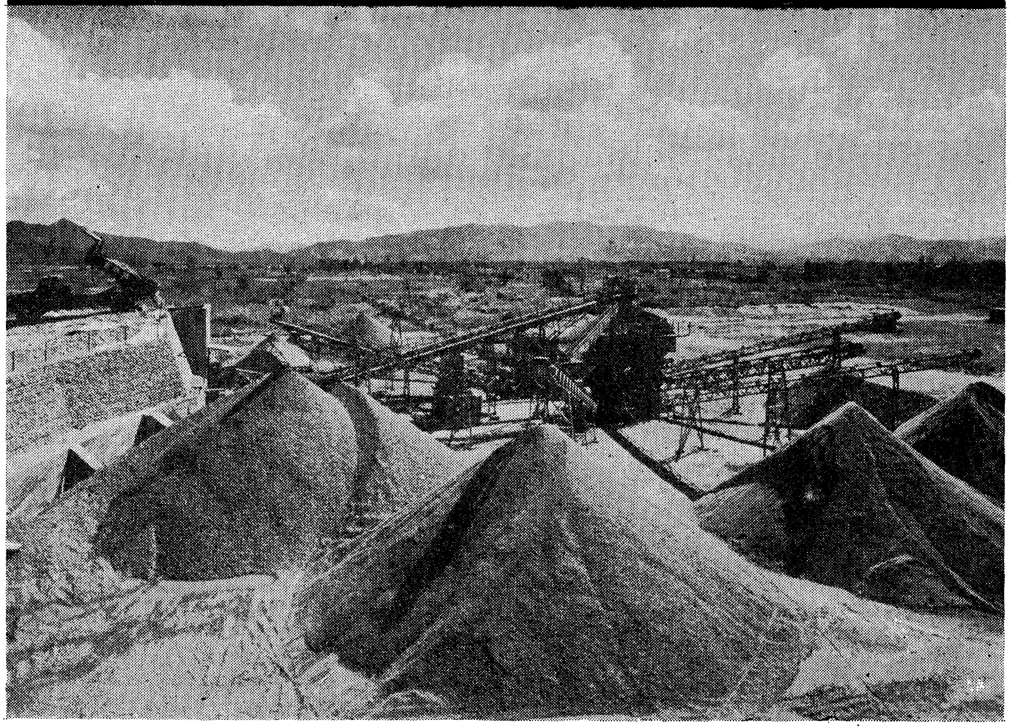
産業の動脈を開く **日立造船の鉄構技術**

■ 完成の近い名古屋の"港新橋"は日本最大級の三径間連続箱桁橋で、日立造船が製作架設を行なっています。

■ 四日市と名古屋を結ぶ産業の動脈"名四国道"の堀川にかゝるこの"港新橋"は、橋長 252m・幅 25m・重量 2,200t

日立造船

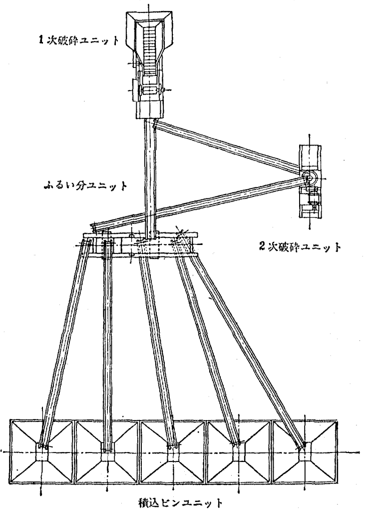
本　社・鉄構営業部　大阪市北区中之島２－２５　電話 大阪(231) 8051
東京支社・鉄構営業部　東京都千代田区内幸町２－22　電話 東京(501) 3251
九州営業所　北九州市小倉区米町１５１　電話 小倉(52) 5688
名古屋営業所　名古屋市中村区笹島町１丁目221の２　電話 名古屋(54) 7942
札幌出張所　札幌市二条東１－７　電話 札幌(5) 4141



小さな機械で大きな能力！

●KOBE ニューポータブル

クラッシングプラント



特　長

■高性能・高度の耐久性

■製作費・工事費・設備費が安く経済的

■据付け・解体・輸送が簡便

設計・製作・施工を行います

● 製作範囲→能力30t／h―80t／h

神戸製鋼所

本　社　神戸市葺合区脇浜町1丁目36

支　社　東京都千代田区丸の内（鉄鋼ビル）

営業所　札幌・仙台・新潟・富山・名古屋・大阪・広島・小倉

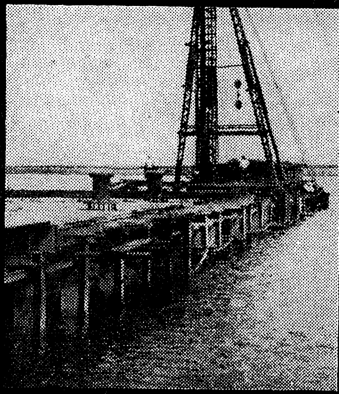
クボタスパイラル鋼管は

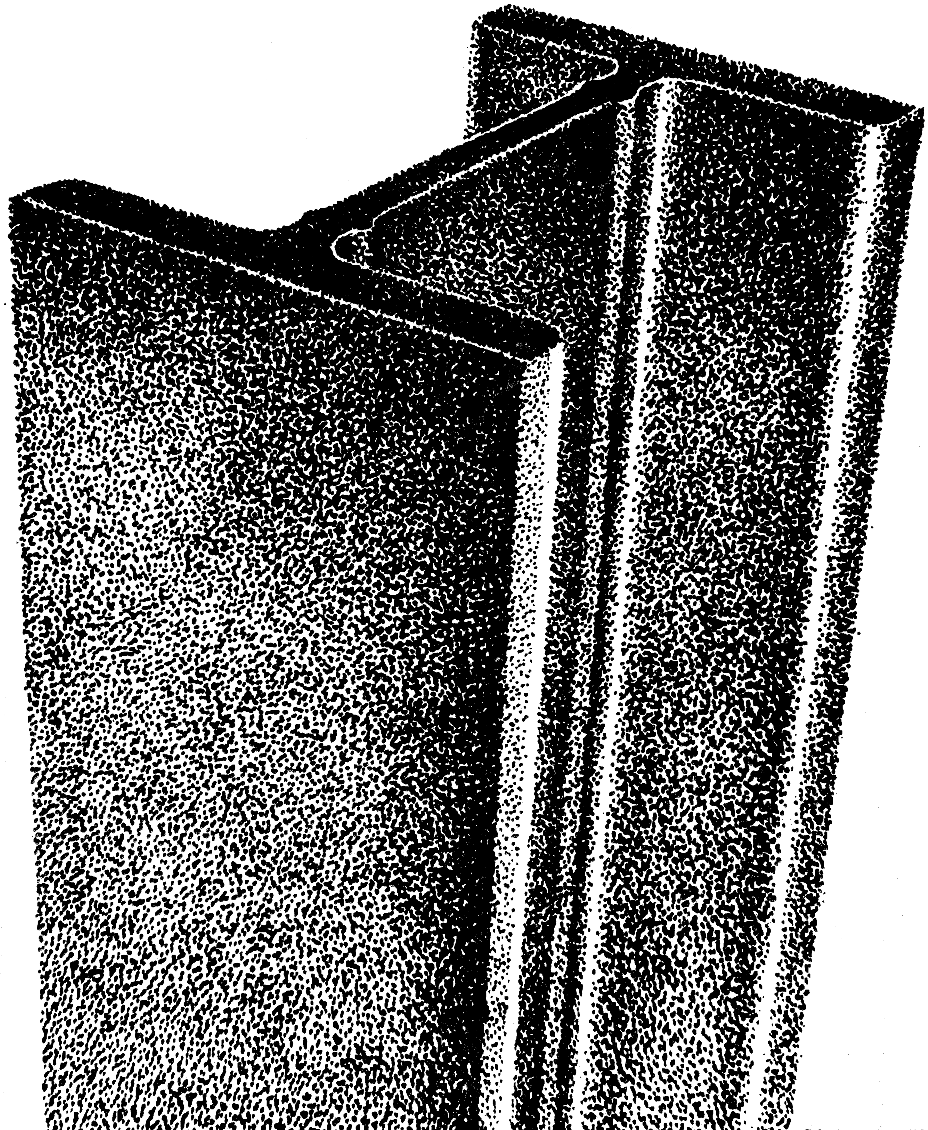
■長尺（18 m）ですから、溶接の手間が少なくてすみ、工期の短縮、工事費の節減ができます。
■地耐力の大きい支持層まで到達し、ガッチリと橋を支えます。
■確実な土質調査に基き、正確な工事を当社で施工いたします。
■全国各地で橋脚用として、多くの実績を持っています。

（東京荒川・鹿浜橋橋脚施工例、外径609.6 m/m、管厚12 m/m、長さ40 m　施工 野口建設株式会社）

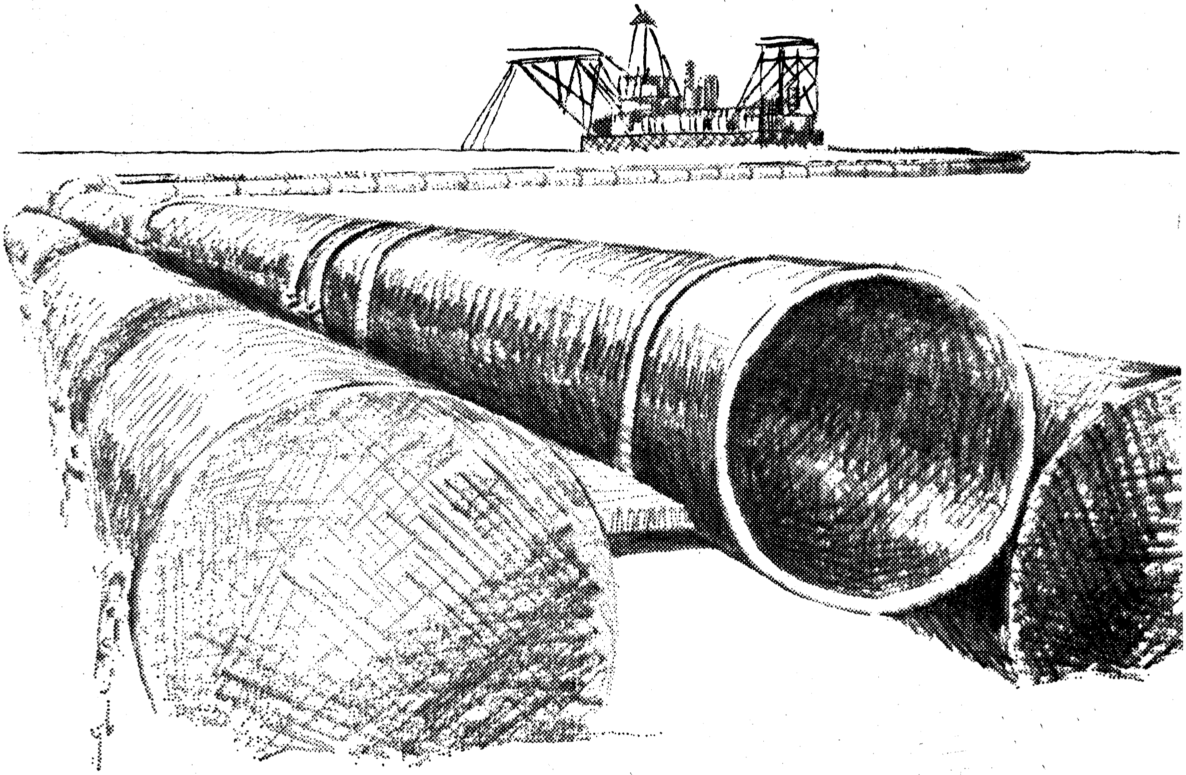
クボタスパイラル鋼管

クボタ
国つくりから米つくりまで
久保田鉄工





耐摩耗性にすぐれる

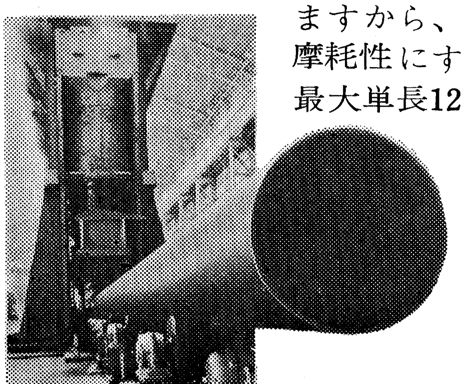


ドレッジングパイプ

NKKの排砂管

ＮＫＫの排砂管は、東洋唯一のＵＯＥ方式による最新鋭設備によって生産されています。厳しい品質管理と検査を通して製造されていますから、品質はすべて均一であり、とくに耐摩耗性にすぐれています。

最大単長12ｍのものまでを、ご要望に応じて生産しています。



■ なお日本鋼管では、付属品(フローター・排砂管受枠)も設計製作しています。

NKK 日本鋼管

本　社　東京・大手町

電　話　東京(212) 7111

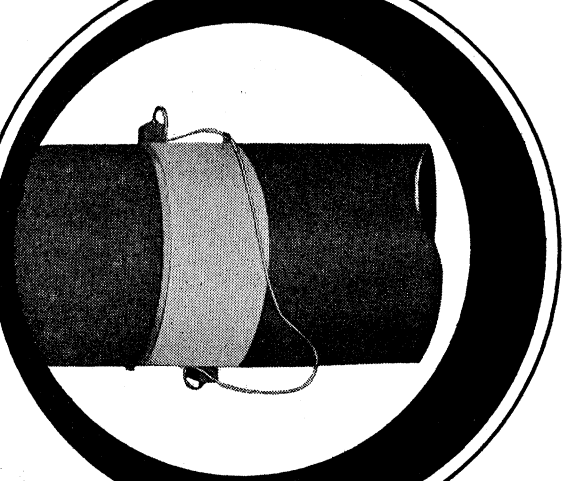
営業所　大阪・名古屋・札幌・福岡・仙台・広島・富山・新潟

TOKYO KEIKI

超音波で大流量測定

東京計器 超音波流量計

UF-100



＊世界各国に特許出願中

超音波計器のパイオニヤとして超音波技術の経験を活し，自信をもって設計いたしました。

＊装備費がかゝらず経済的

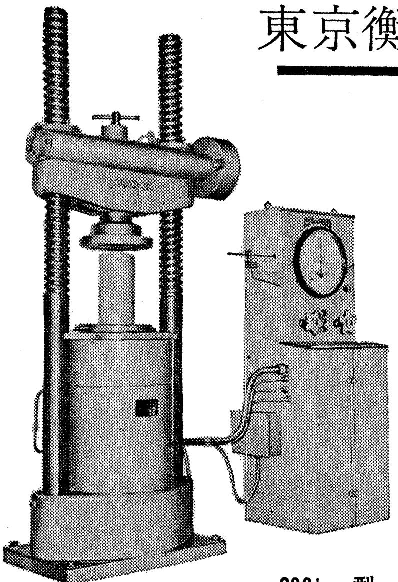
300 m/mφ以上の大口径管に外部より装着するだけですみ，流れを防げる障害物がありませんので圧力損失がありません。

カタログ進呈
営業管理課B39係

株式會社 東京計器製造所

本　社　東京都大田区南蒲田２の16　電話(732)2111(大代表)
営業所　神戸・大阪・名古屋・広島・北九州・函館・長崎・横浜

東京衡機ＣＭ型油圧式耐圧試験機



200ton型

最も一般的なセメントコンクリートの耐圧強度試験機です。取扱いが簡単で故障が少く保守も簡単であり15φ×30cm標準試験片用の耐圧盤の他に15□×53cm曲げ試験用の三等分点荷重装置（特別付属）も取付けられます。

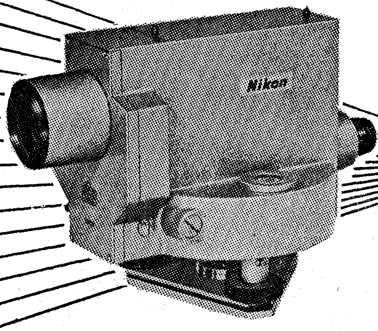
仕　　様	100 t 型	200 t 型
力　量（四 段）	100.50.20.10(t)	200.100.40.20(t)
耐　圧　盤	240 φ mm	310 φ mm
圧　縮　間　隔	0 ～ 600 mm	0 ～ 600 mm
ラムストローク	150 mm	150 mm
高　さ（本 体）	2300 mm	2400 mm
重　量（本 体）	1500 kg	2000 kg

●カタログ御請求下さい

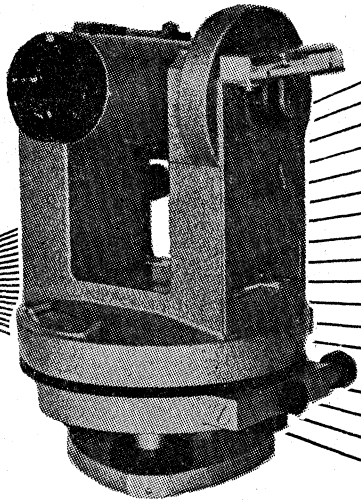
株式会社
東京衡機製造所

営 業 部　東京都品川区北品川４－516 TEL(442)8251(代)
大阪支店　大阪市北区堂島上3－17－1 TEL(362)7821～4
工　　場　大　崎(計重機)・溝　ノ　口(試験機)

定評ある性能
日本光学の測量機



ニコンオートレベルN



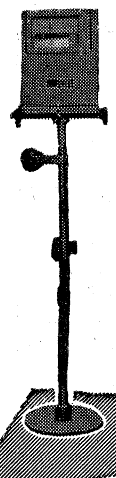
ニコントランシットH5

日本光学特約店
カール．ツアイス特約店

カタログ進呈

株式會社 三笠商店

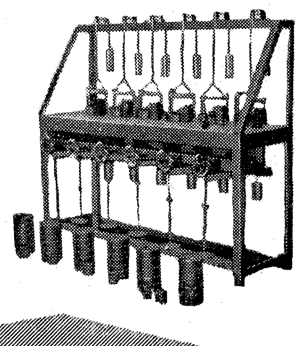
本　店 東京都中央区日本橋室町4丁目1番地 TEL(241) 0889・3028・1807・6564番
東京営業所 (営業部) 東京都中央区築地1丁目10番地 TEL(542) 3301～5・(541)4560番



● 地辷自記測定器
Model SM-33

特殊機構により1ケ月の
長期記録が出来ます。

● 標準型圧密試験器



Model SM 25

営業種目
土質試験機
コンクリート試験機
セメント試験機
アスファルト試験機

株式会社 千代田製作所

Chiyoda Testing Machine

本社 東京都墨田区緑町4－7(千代田ビル)
電話(631) 3403・9840(633) 0432
工場 東京都江東区深川毛利町34

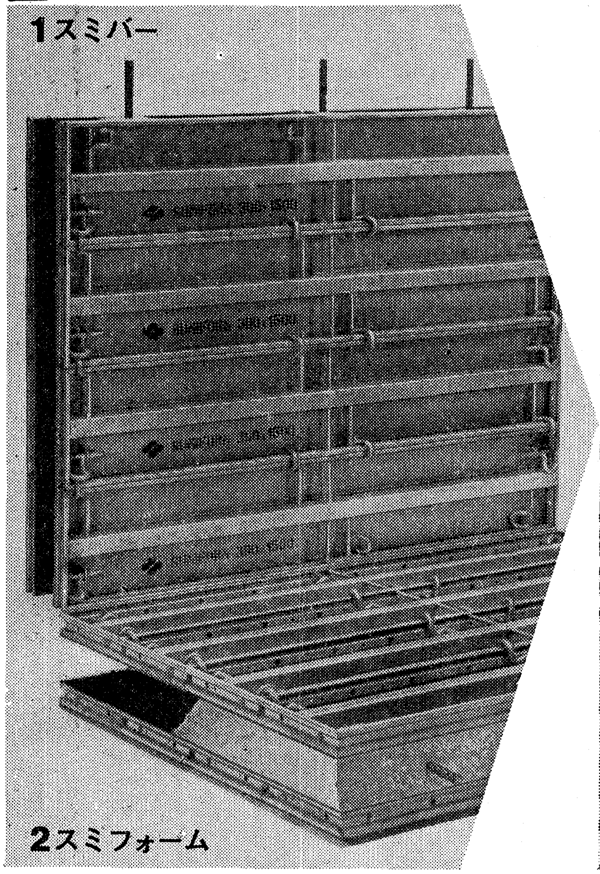
“鉄をつくり 未来をつくる”住友金属

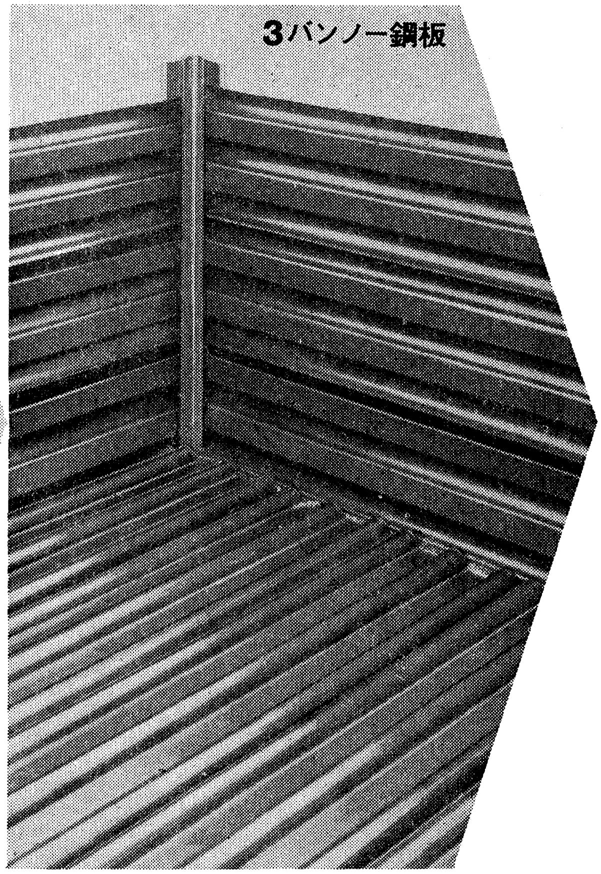
1 コンクリートの付着度がもっとも大きくなるよう設計されたスミバー

2 クリップが本体と一体化したスミフォーム

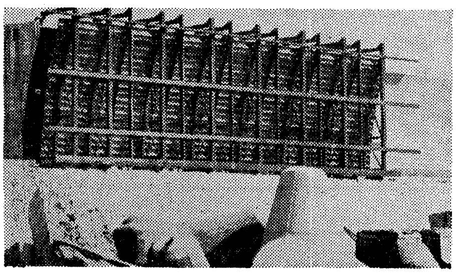
3 組み合わせに便利な形状のバンノー鋼板

すみずみまで 使いやすさが工夫されている 住友の建材トリオ





〈近代建設〉を推進する建材トリオ



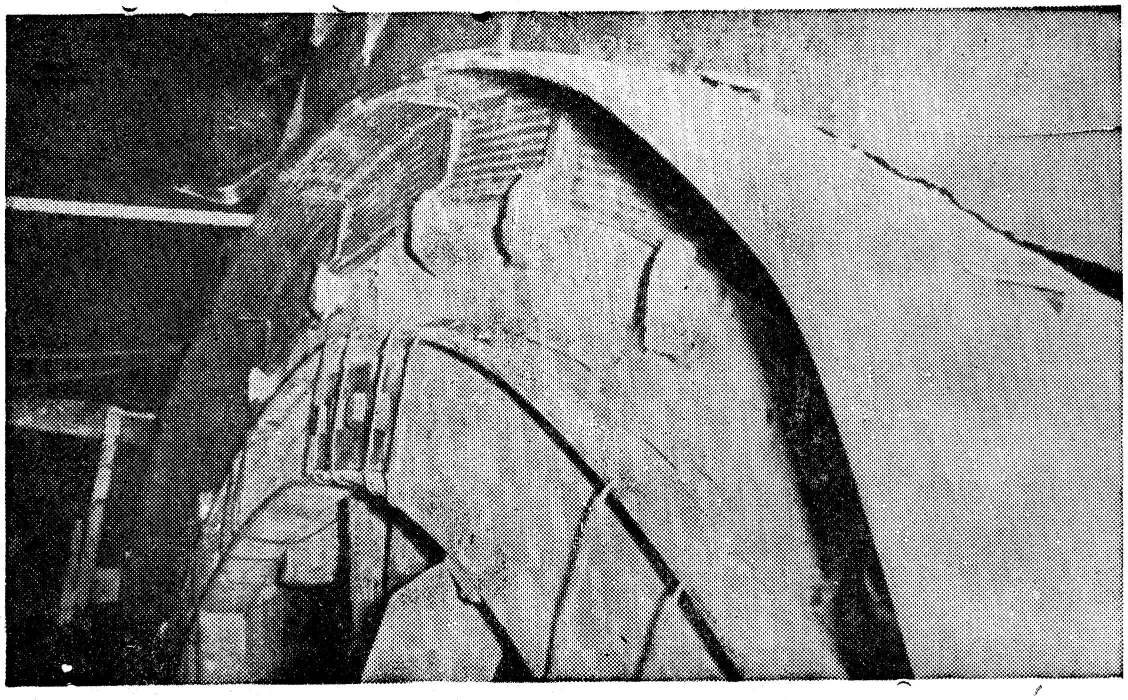
建設工事の合理化・近代化に住友の建材トリオをご活用ください。●強度 耐久力 曲げ特性など すべてJIS規格以上のスミバー 使用鋼材を大いに節約できます。●組み立て 解体が金づち一本でできるスミフォーム 作業がじん速で 安全です ●用途はまさに万能のバンノー鋼板 アイデアひとつで 工事現場のあらゆる所に利用できます。トリオで使えば あらゆるムダが大いにはぶけ 工事費もグンと節減できます。

住友の建材トリオ

住友金属

住友金属工業株式会社

本社／大阪市東区北浜5の15（新住友ビル）
支社／東京都千代田区丸の内1の8（新住友ビル）
営業所／福岡・広島・高松・名古屋・新潟・仙台・札幌



塩ビ止水板の〈折り曲げ工法〉が特許になりました！

特許番号 309508
実用新案番号585799

コンクリート型枠を切らずに、塩ビ止水板を埋設施工できる〈折り曲げ工法〉が、特許になりました。……こんどは、シーカ・ジョイントリボン、アブロン、エスロンの3塩ビ止水板だけが、この工法を使用できます。

水泳プールからダム建設まで——塩ビ止水板なら画期的な"特許工法"をもつ止水板をご採用ください。作業能率の向上、工事費用の節減にも役立ちます。

日本の塩ビ止水板を代表する….

シーカ ジョイントリボン

日本シカ株式会社 極東総発売元
海外通商株式会社
東京都港区赤坂溜池町15
[illegible]日ビル (481)3852・6485

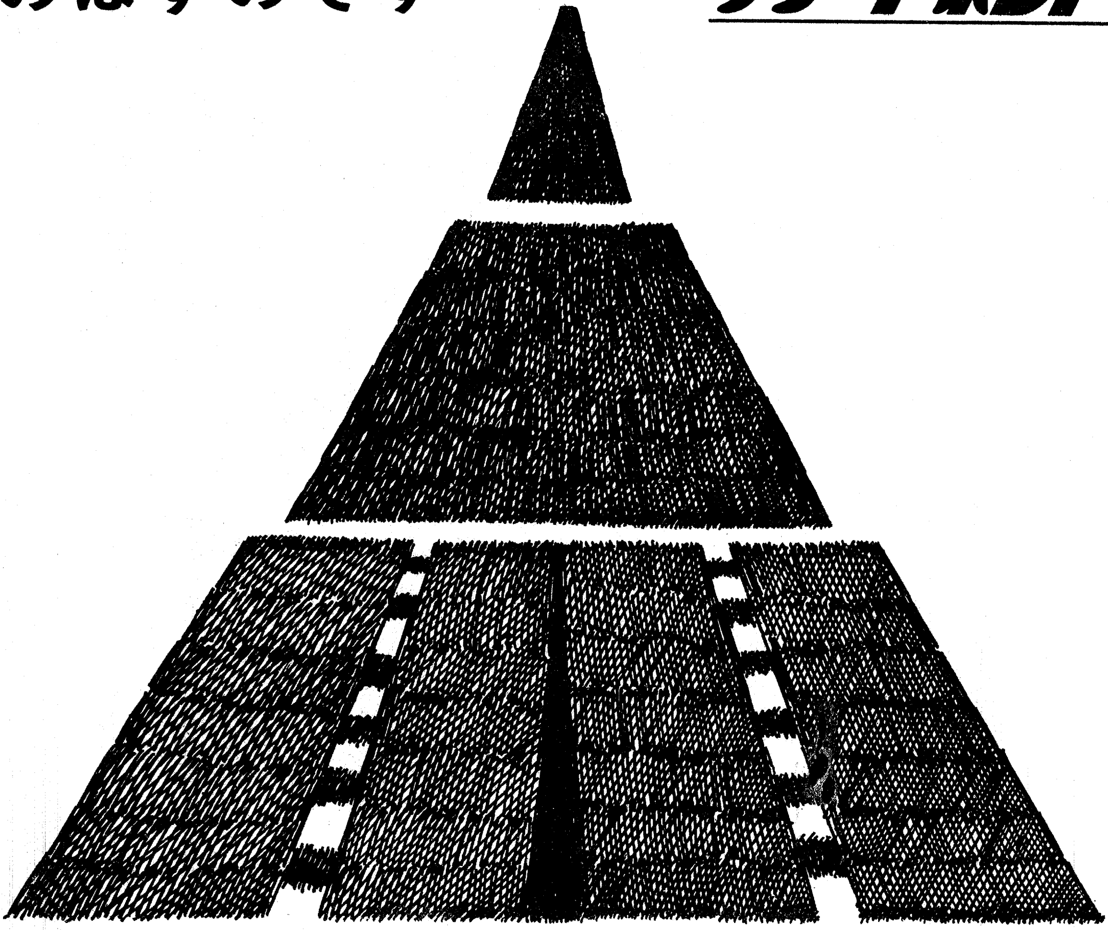
アブロン止水板

株式会社 宮村商店
大阪市西区京町堀2の76
電話 大阪(443)3541(代表)
東京営業所(201)6211(内)2439

エスロン止水板

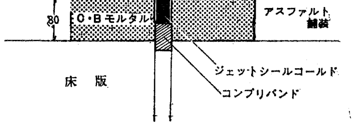
積水化学工業株式会社
大阪市北区宗是町
電話 大阪(441)1831(大代表)

道⇒道路⇒動脈 つないで のばすのです
クリートボンド

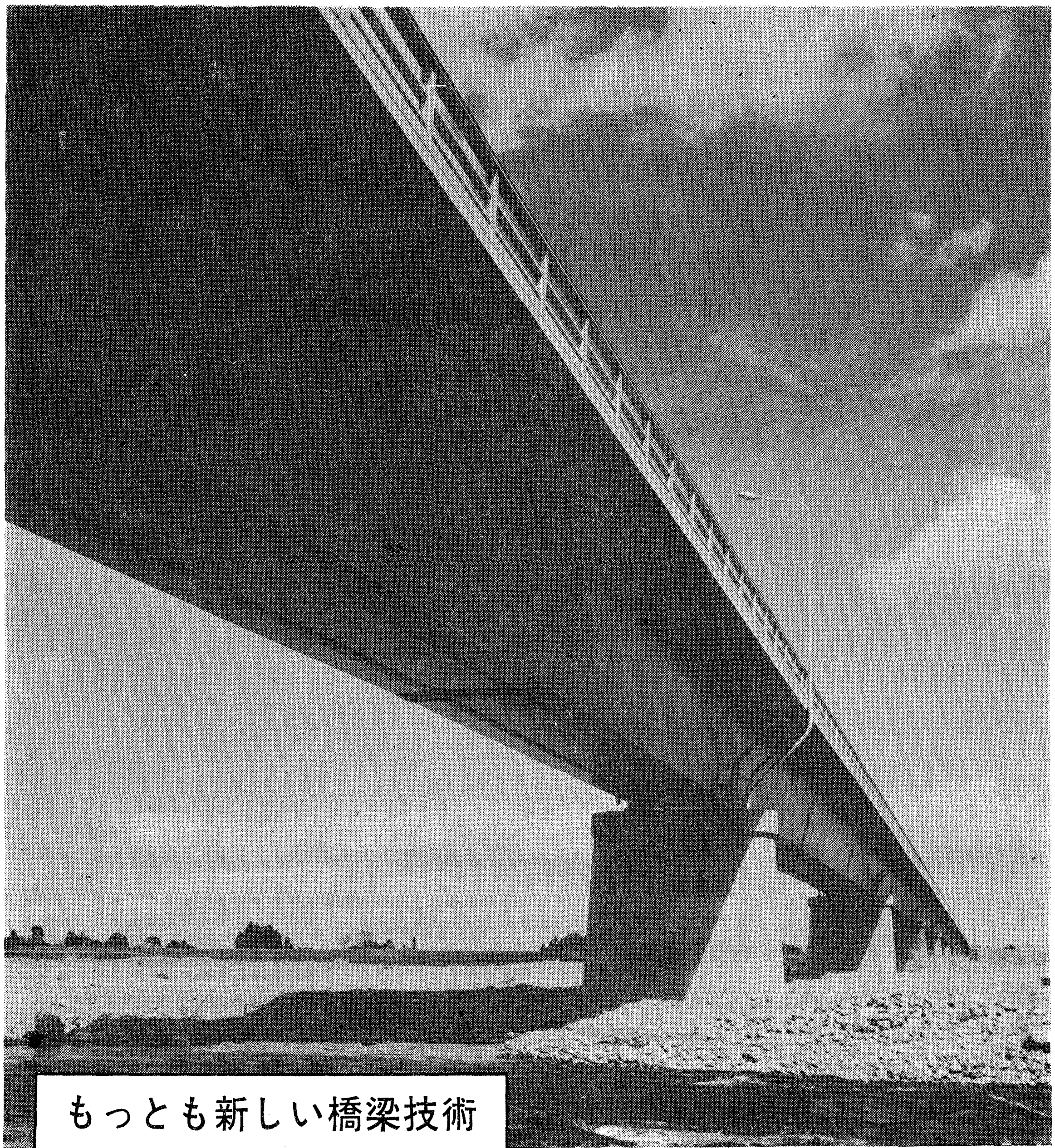


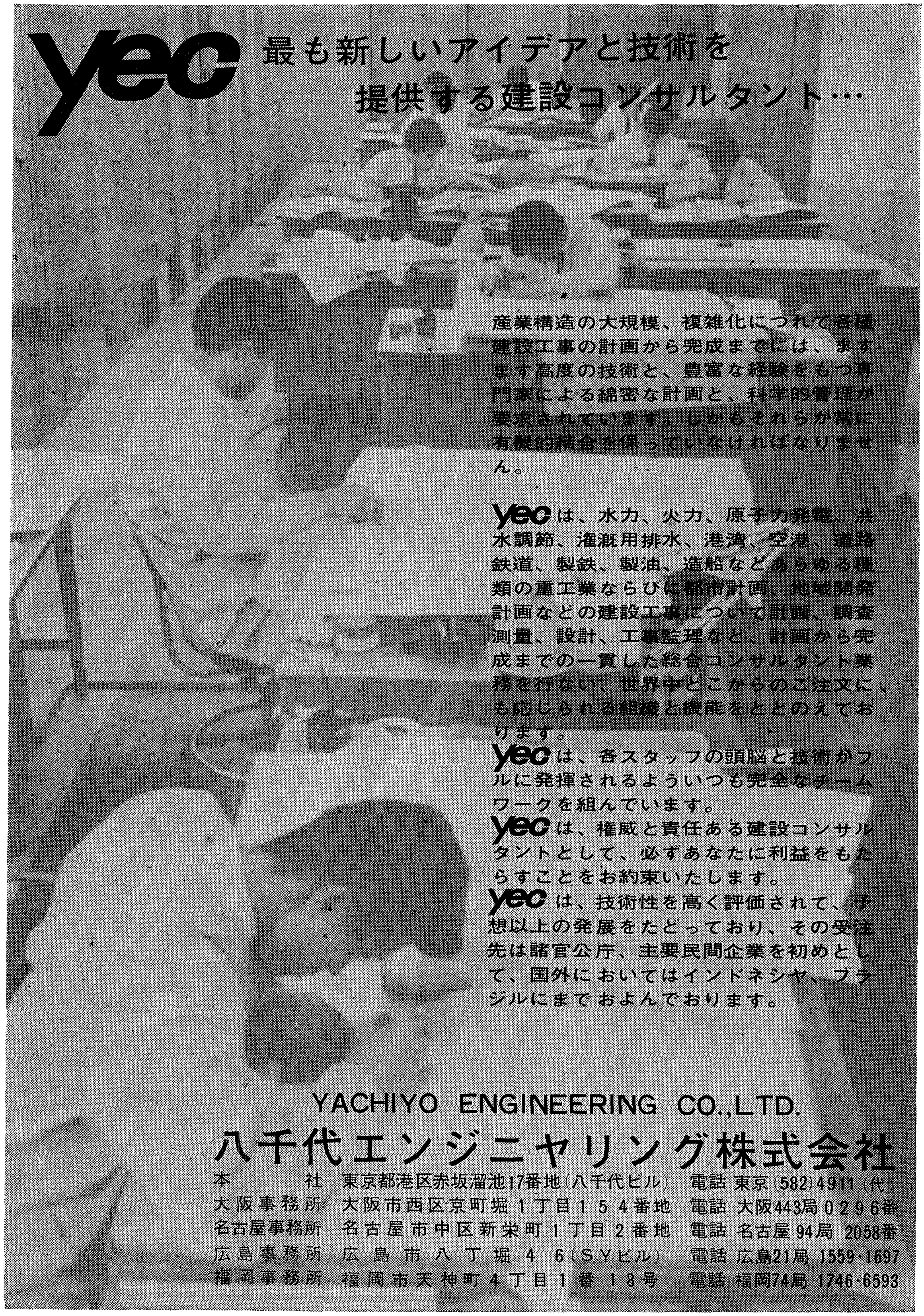
高架橋の時代を迎え　つぎ目・エクスパンションジョイントに要求される条件がきびしくなってきました
従来のジョイント処理では満足されない時代が来たのです

〈クリートボンドのジョイント処理〉
1．構造が簡単で施工後24時間で交通開放ができます
2．耐久性があります(耐摩耗性はコンクリートの8倍　強度は5倍です　また接着力が大きくはがれません)
3．走行者に意識させない構造です（美観をこわすことなく　アスファルト舗装面との凹凸がありません　衝撃　噪音は感じられなくなりました）
4．温度変化による伸縮が容易です
5．完全防水完全排水です
6．維持　補修が容易です
〈クリートボンドのエクスパンション工法〉
もはや　新工法ではありません　すでに開通した高速道路　日本橋〜鈴ケ森間をはじめ　全国で使用されています
クリートボンドは完全なジョイントで道をつなぎ　現代の道を切り開いています

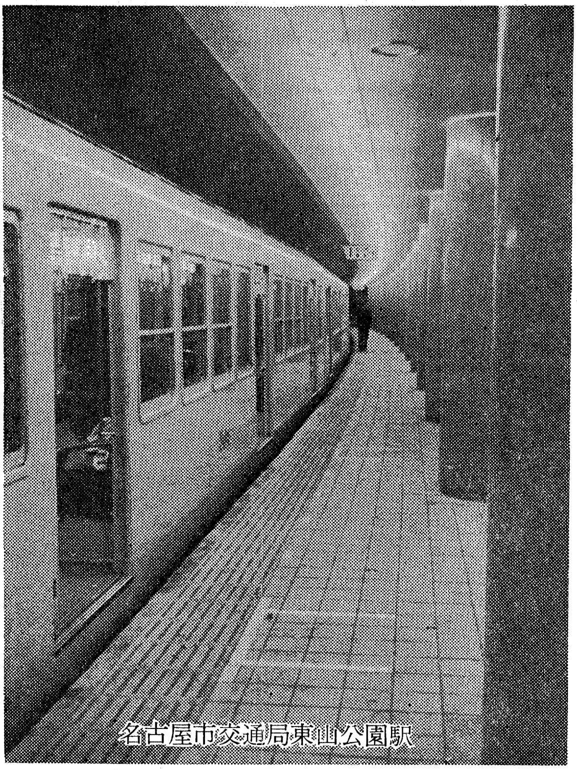


●建設材料の総合コンサルタント
(株)ABC商会
東京都千代田区永田町2—77(電)580-1411(代)
大阪・名古屋・札幌・仙台・新潟・広島・福岡
○エクスパンションジョイントの資料はDA—CB係へお問合せください





yec 最も新しいアイデアと技術を
提供する建設コンサルタント…
産業構造の大規模、複雑化につれて各種建設工事の計画から完成までには、ますます高度の技術と、豊富な経験をもつ専門家による綿密な計画と、科学的管理が要求されています。しかもそれらが常に有機的結合を保っていなければなりません。
yecは、水力、火力、原子力発電、洪水調節、潅漑用排水、港湾、空港、道路鉄道、製鉄、製油、造船などあらゆる種類の重工業ならびに都市計画、地域開発計画などの建設工事について計画、調査測量、設計、工事監理など、計画から完成までの一貫した総合コンサルタント業務を行ない、世界中どこからのご注文にも応じられる組織と機能をととのえております。
yecは、各スタッフの頭脳と技術がフルに発揮されるよういつも完全なチームワークを組んでいます。
yecは、権威と責任ある建設コンサルタントとして、必ずあなたに利益をもたらすことをお約束いたします。
yecは、技術性を高く評価されて、予想以上の発展をたどっており、その受注先は諸官公庁、主要民間企業を初めとして、国外においてはインドネシヤ、ブラジルにまでおよんでおります。
YACHIYO ENGINEERING CO.,LTD.
八千代エンジニヤリング株式会社
本社 東京都港区赤坂溜池17番地(八千代ビル) 電話 東京(582)4911(代)
大阪事務所 大阪市西区京町堀1丁目154番地 電話 大阪443局0296番
名古屋事務所 名古屋市中区新栄町1丁目2番地 電話 名古屋94局 2058番
広島事務所 広島市八丁堀4 6(SYビル) 電話 広島21局 1559・1697
福岡事務所 福岡市天神町4丁目1番18号 電話 福岡74局 1746・6593



名古屋市交通局東山公園駅


建設技術者多年の夢を実現した
《人工軽る砂利・人工軽る砂》
〝強くて軽いコンクリート〟という建設技術者多年の夢を実現したのが、人工軽量骨材メサライトです。
アメリカでは、人工軽量骨材を用いたコンクリートはすでに40年の実績をもっておりますが、日本では初めて弊社が、世界的メーカー　ベーソルト・ロック社との技術提携によりこの夢を実現して、ついに従前の天然骨材の欠点を是正する人工軽量骨材メサライトを上市することになりました。
メサライト
（カタログ贈呈）
三井金属鉱業株式会社

夢のコンクリート骨材メサライト

固くて軽く、しかも吸水性の少い、化学的に安定した人工軽量骨材《メサライト》は次のような特性をもっています

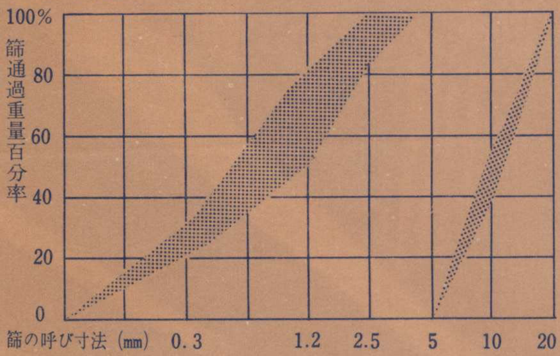
●比重及び吸水

	粒　径	単位容積重量	見掛比重	吸水
細骨材	5mm以下	0.95t/m³	1.6	10%
粗骨材	20－5mm	0.70t/m³	1.2	8%

●物理的安定性

	骨材の損失量〈重量比〉	区　分
細骨材	3.7%	甲
粗骨材	5.0%	甲

●標準粒度



●化学的有害物

無水硫酸	なし
塩化物	なし
有機不純物	なし

●化学分析

SiO_2	66－70%
Al_2O_3	16－18
Fe_2O_3	4.6－5.6
CaO	2.0－4.0
MgO	1.6－2.8
Na_2O	1.5－1.7
K_2O	1.6－2.8
Igloss	0.2－0.3

メサライトコンクリートを建築物・橋梁に用いると、次のような大きな経済的効果を示します

1. 鋼材料や、基礎・仮設諸工事費が節約できます。
2. 大スパン建築物を経済的に構築できます。
3. プレキャスト部材の運搬費、架構手間が安価となります。
4. 断熱性に富むため、暖冷房設備費、運転費を軽減できます。
5. 橋梁建設では、支間60mの場合、桁高を20%も低くでき、また桁高を同一にすると支間を20%伸ばせます。
6. 鋼橋、超大支間吊橋の床版コンクリートなどに用いた場合の経済的効果は一層大きくなります。

三井金属鉱業株式会社

本社(商務第2部)	東京都中央区日本橋室町2の1三井ビル内	東京(241) 4101～9・2371～9
大阪支店	大阪市北区中之島3の5三井ビル内	大阪(441) 3731～9
名古屋営業所	名古屋市中村区広小路西通り2の26三井ビル内	名古屋(54) 3171～5
福岡営業所	福岡市上呉服町1博多三井ビル内	福岡(3) 8561～5
札幌営業所	札幌市北二条西4の1三井ビル内	札幌(4) 8596
広島営業所	広島市研屋町77三井ビル内	広島(28) 1401
仙台出張所	仙台市名掛町91第1ビル内	仙台(23) 9351
富山出張所	富山市桜橋富国生命ビル内	富山(2) 5808
中央研究所	東京都三鷹市下連雀南浦500	武蔵野(04223) 1101

180

昭和二十五年三月二十四日第三種郵便物認可
昭和三十九年九月十日印刷
昭和三十九年九月十五日発行
（毎月一回十五日発行）
土木学会誌 第四十九巻 第九号